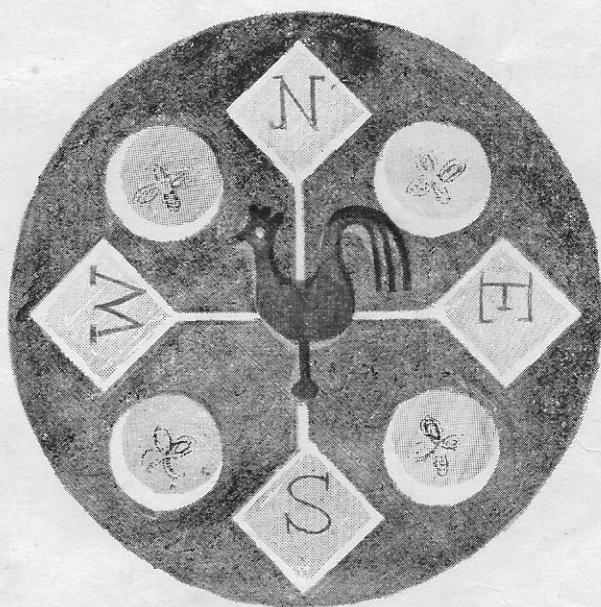


LEON- TODD

N-ro 21-22



Dicembre

1958

— ENHAVO —

Revuo Orienta による北海道エス界	坂下清一	1
ローマ字と Esperanto	アリマヨシハル	5
地方会便り	全国E会致事	17
第22回北海道エスペラント大会報告		24
H E L 会員名簿 (33. 11 現在)		53
H E L 収支報告		56
北海道エスペラント連盟規約		57
北海道エスペラント連盟役員名簿		58
あとがき		59

La bildo de kovrilo estas kopiita el
fama gazeto "KURASĜI NO TEĈOO".

Revue Orientaによる北海道エス界

坂下 清一

- 1932
Feb 69 内 苫小牧 苫小牧エス会 15日 19時より富士館食堂にてザ祭。門松氏司会。西村氏は
ザ博士伝に併せてエス語の普及史を述べ、栗部氏はかねて往訪せる北米エス運動の現
状を語る。終つて講習会の打合せ。
小樽 小樽エス会 18日 19時半より稲穂町オ 15 部番屋にてザ祭。極寒にも拘ら
ず 20余名来会
- Marto 108 内 小樽 毎月1日、15日の二回「カルロ」を初等講習会と併せて下沢氏宅にて会合。
110 F 小樽エス会ザメンホフ祭 1931-12-18
註(野村、池島、坂下、近藤、辺見、小安、松尾、佐藤、下沢、丸山、藤川、江口、
高坂、高橋、加畑、明、等 21名)
- Aprilo 151 内 2月16日 18時よりオ9回例会花園町公園クラブ樓上に於て、20名「カルロ」短
講
- Marto 190 内 全北海道エス大会 空知郡山部市街地エス普及会北海本部にて
8月5日(金)大会発会式(午後)、協賛会、大会の夕(親睦晚餐会、余興)
6日(土)講演会(午前)、弁論大会(午後)、オニ目成試会、座談会
7日(日)講演会(午前)、園遊会(11時)
参加費用、晚餐会費 1.00 園遊会費 1.00 大会参加費 50。宿舎三泊 2.10 計480円
- Junio 232 内 小樽 5月3日 公園クラブにてオ13回例会 8名出席 テキストは下村氏談の「
自然と人生」講習終了者のテキストを Rusaj Rakontoj に決定★5月7日 大
阪エス会の加藤浩太郎氏の参加あり 15回例会
小樽 小樽エス会オ一回の初等短講は4月12日~24日 15部番屋に於て受講者
14名、講師中 北海道エス普及会中村氏の来訪あり、講師近藤氏。
- Aug. 311 小樽 小樽エス会は月三日の例会中1時間を漫談とすることとした。
313講習会 苫小牧 工業学校エスグループ 毎火、土 放課後2時間毎。受講者30名 講師
渡部氏。字責入
函館 6月13日~7月18日 函館日々新聞社後援 会場同社。講師 能登義雄、高
永正吾両氏。受講者14名。用書「短期講習用書」「エス読本」(小田島報)
小樽 初等~6月20日~30日 小樽愛善クラブ主催 講師近藤、坂下、辺見の諸氏
受講者10名、近々オニ回開催の由。
- J 6.10 函館新聞、函館日々、函館毎日 エス語講習 高永氏履下。
6.12 “ 新教授法によるエス語講習の記事。

Sept 350

北海道エス大会 北海道各地の同志を糾合したオーロ北海道エスペラント大会は8月5日から7日までの三日間、空知郡山部市街地で開かれた。参加者は20数名に過ぎなかったが札幌、帯広、苫小牧、板室、室蘭、函館、旭川等道内の主要な緑色郡邑の熱心な代表の同志を御羅すことが出来た。更に東京から F-ino Agnes Alexander, 電岡から井上照月氏, S-ro Josef Major を迎え得たことは全北海道の同志にとって大きな喜びであった。

オ2日の学術講習会「山部及其附近の地質学-北大理学部服部幸雄氏」「欧州哲学会の最近の傾向-マヨール氏」オ3日新精神運動講演会 F-ino Alexander, S-ro Major, 井上氏通訳によるマヨール氏の「日本のオーロ象に就て」の公開講演は地元の人々に多大の感銘を与へた。

351 g 8-14 函館日日「日本とハンガリーとの友誼」ヨセフ・マヨール

352 函館 北海道エス大会出席の S-ro Josef Major の末道を機として8月2日 於10時駅前浅田屋木テルで歓迎会開催の吉田、小田島、井上、鎌田、山内、能登、佐々木の諸氏出席。Major氏は大会の帰途函館放送局からエス語で放送の予定。(函館エス会報)

353 F 函館日々新聞社主催エスペラント講習会

講習会 帯広 初等7月28日-8月末 木 日 毎7時半~9時 聴講15名

函館 7月18日 函館日々後援のオ26回エスペラント講習会終了。今後毎週大旺日午後7時より、井上進子氏宅で輪読会を持つ。用書「ザメンホフ読本I」

J Informilo antaŭ-kongreso J. (エス普及会北海道本部)

Okt 389

IK disaŭdigas paroladon de Major. マヨール氏の講演放送。

オ1回北海道エスペラント大会からの帰途ヨセフマヨール氏はエスペラント普及会幹事井上照月氏と同伴 九月十三日札幌12立寄り十四日札幌中央放送局で「日本とハンガリーとの友誼」という題で 井上照月氏通訳のエス語渡説を、午後六時半から約三十分間放送した。十五日夜は狸小路明治製菓三階で歓迎座談会を開いた。出席約25名。数名の F-ino の顔もみえた。両氏は更に16日午前小樽に赴きマヨール氏は当夜小樽愛善倶楽部で「東洋と西洋」と題し約一時間にわたつて講演した。(小樽福田一氏報)

389 F 札幌の同志とマヨール氏。 放送中のマヨール氏

Nov 432

地会 小樽 小樽エス会 9月24日19時から近藤氏宅でオ一年度総会を開き会計及事務経過報告、役員改選其他協賛。役員は会長消任、会計辺見、庶務斎藤の諸氏。なお最近の例会は五人程度で意気上らず唯之等の着状初次的な会話を待つのみ。他団体からの激励の通信を望む。小樽市花園町西二ノ二十 小樽エス会

433 F 旭川エス語講習会。講師中村久雄

講習 旭川 9月15日～21日 エス普及会旭川支部主催、オニ回初等講習会。実科高女にて 講師中村久雄。受講者16名

小樽 堀氏指導 受講15名。10月9日1ヶ月の初等を終り中等に移る。

J 根室新聞 9.30-10.2 「エス語講習会に当って一 国際補助語エスとはどんなものか。野田喜三郎」 10.1 「エス講習会を開く」 10.2 「エス語講演会」。

根室日報 10.2 「エス語とは」 「エス語講習会と講演会」

Dec 422 F 根室エス会講習会 (講師中村久雄。受講18名)

473 桜樹紙 連盟会報1。(北海道帯広大通り 原田三馬方 北海道エス連盟)

連盟の組織について

Norda Brilo, la. 2; Nov. (エス普及会北海本部) 印刷鮮明

1933 (昭5)

Jan 24 内報 北海道エス連盟結成さる。

昨夜空知郡山部村に於けるオニ回北海道エスベラント大会の節設立された北海道エスベラント連盟 (Ligo de la Esperantistaj Societoj en Hokkaido - 略号 Lesho) の碑塔は愈々まる11月にととのつた。本部は十勝国帯広大通り5丁目14 原田三馬方におき会報発行事務所は空知郡山部村中村久雄方である。連盟の幹事は小田島米、渡辺隆志、近藤義誠、相沢治雄、中村久雄、原田三馬、三田智大、藤野謙助の8氏である。顧問には田上北大予科教授、福原北大助教授、高瀬教授、高桑函館毎日編集長の4氏を戴く。同連盟は加入せるエス会と izolitaj esp-istoj とよりなる。

27 桜樹紙 La Norda Kruco (並小牧渡部氏) N-m III; Dec: Marto kaj Reviviĝo. Abdul Baha 講演集. Serpentaj Piedoj.

Feb 51 F 小樽 (小樽エス会)

52 サ祭 12月17日19時より公園クラブに於て。盛会裡に21時終了

(21名。近藤、坂下、辺見、高橋、小安、江口、脇坂、加畑、藤川、松山、本間他)

54 内 小樽エス会 廿三回例会を会員高橋氏宅にて12月2日開催。33年度は相互通信による研究方法をとり尚その優秀通信文の研究のため随時兼合をもつことにした。

小樽アンタウエン会。毎週土曜19時半より愛善クラブにて研究会を催している。

Verda 誌を使用。講師は辺見氏。

55 桜樹紙 連盟会報 (北海道エス連盟) 連盟創設の説 (三田)。Tagiĝo 新説 (三田) 各地消息

Marto 82 内報 小樽 オニ回中等講習会は毎月1、13、23日19時 稲穂町近藤義誠氏宅で開催。科目は講義、文法、作文、会話等にて講師は近藤、坂下両氏。従来花園町辺見氏宅にあ

つた同会事務所は同氏の健康勝れぬため奥沢町2の13 藤川哲蔵氏宅へ移転。2月

3日才33回例会を近藤氏宅にて 中等科研究会出席者7名。

★ 昨年11月から上京中の福田仁氏は学会の事務其他を手伝はれて大いにエス運動のため東京にて活躍されたが今度小樽に帰られた。今後は同地エス会のため郷活躍の事と思ふ。

稚内 人類愛善会稚内支部主催、稚内町教育会、宗谷新報、宗谷日々新聞社、昭和青年会北光才ニ支部後援にて北海道北端稚内町として最初のエス講習会を1月18日から一週毎毎夜3時間迄稚内本校に於て開催、受講者は教諭、訓導、郵便局員、鉄道員等にて41名。終講の日 会場にて小展覧会を 催し、エス普及会稚内支部発表会式及エス余興の夕を閉いた。講師は北海道エス連盟幹事、中村久雄氏。今後毎週火曜夜、同支部代表者 中学教諭 竹元与平氏方にて研究会をもつことになった。

82 F La 1a Esp-kurso en Uakkanai, Hokkaido.

Aprilo 112 内報 札幌 札幌エス会一人類愛善会主催の初等エス講習は2月22日 19時より相沢氏宅にて輪読会を開く。用書 コボルド、オンドラ。

小樽 Antaüen会 一辺見氏病気のため先般東京より帰郷された福田仁氏が中等研究会を *guidi* されている。出席者約15名。

Majo 142 内報 小樽 小樽エス会では3月3日 19時から稲穂町近藤義藏氏宅にて才37回例会を開き先づ三月号「エス」逐條文を持ちより研究し後福田仁氏を招き会話方法等について懇談し次回から会話を指導されることになった。3月23日初等会話会を開き、*de* 氏同答法により福田氏持参の玩具 *Nigra kato* を教材に使用し今後組織的に勉強することになった (藤川氏報)

Junio 170 内報 4月14日 小樽 *Esp-Klubo* 主催にてザ博士忌年祭を永井町の同集会場に於て19時から開催。十余名出席。福田氏の *saluto* に初り *Antaüen* 会の松山嬢、小樽エス会の藤川氏、脇坂氏の *saluto* (すべてエス語)。23時半 *Tagiö* 斉唱の後散会。★ 5月1日から同 *klubo* にて初等講習会講師は福田氏。参加者11名 (中 *F-ino* 7名)

171 F 小樽エスクラブ。ザメソホフ祭。加畑、坂下、福田、*Fino* 松山、*F-ino* 宇谷、脇坂、江口、藤川、大谷、高志、同夫人、*F-ino* 堀。

Julio 196 報 岩内 4月18~25日まで 岩内港にて人類愛善会支部 昭和青年会支部共催の下に在郷軍人分會堂に於て初等講習会を開催。講師は中村久雄氏。初日受講者25名 漸次増加して結局50名を算す。20日には岩内商業専修学校に於て同校々友会主催にて同校教員及生徒に対してエス講演会を開催

苫小牧 岩内からの帰途にある中村講師を迎へた苫小牧工業学校エス会では4月28日土木教室に於て同講師のエスペラント講演会を開催盛会であった。同代表渡辺教諭は六月中に同校生徒エス会員9名ほどを引率の上関西方面見学旅行の途次ニ、三エス会を訪問すべく 特に同教諭指導の下に熱心な研究会をつづけている。

Rensyū mondai

Nipponsiki Rōmazi r Esperanto-siki Rōmaziノカキ
カタノチガイヲハッキリオボエテ、ツギノカキモツキノNippongoヲニツボシ
シキRōmaziニカキオボシ、ソノツギニEsperantoシキローマジニカキ
オボテゴランオサイ。(ハジメノKotaeヲミタイデカクヨ)

Mondai

オカサンワトツテヨイコイデ、ウタヲウタツテ、ポウチヤンヲ
ネムラセテイマス。“ネンネンコロリヨオコロリヨボージャノヨイコイ
ネンネンシテ、ボージャノオモリノドコエイタ。アリヤマコイテ、
サトエイタ。”オカサンノヨイコイニポウチヤンノダダント
イキテニツツテ、スヤスヤトネムツテシマイマシタ。

Kotae

ローマジ: Okâsan wa tottemo yoi Koe de, Uta wo
イスペリシ: Okaasan — — — — joi — — — — ũo
utatte Pon-tyan wo nemurasete imasu.
— — — — -ĉan ũo — — — — — — — — .
“Nennen kororiyo okororiyo, Bôya wa yoi Ko
— — — — kororijo okororijo, Booja ũa joi —
da nenne sina, Bôya no Omori wa doko e ita.
— — — — ŝina. Booja — — — — ũa — — — — .
ano Yama koete Sato e ita.” Okâsan no yoi Koe
— — — — Jama — — — — — — — — . Okaasan — joi —
ni Pon-tyan wa dandan to ii Kimoti ni natte suyasuya
— — — — -ĉan ũa — — — — — — — — Kimoĉi — — — — sujasuja
to nemutte simaimasita.
— — — — ŝimaimaŝita.

Dai 11 nième

Esperanto J Moji, Jobina, Hacuon J Sozarae

ユラチ ヲチロ, Róomaji ヲ スル Esperanto-ŝiki ヲ ヲカマス.

Jobina		Qomoji		Komoji		Hacuon		Hacuon no ŝikata
		Insacu	kakü	Insacu	Kaku			
ア-	(a:)	A	a	a	a	ア-	(a:)	Kuĉi ヲ オオキク アケテ, アコトイ
ボ-	(bo:)	B	β	b	β	ブ	(b)	ボ-ヤノ, ボ-ト オナジニ ハツオンスル
ツ-	(tso:)	C	Ĉ	c	ĉ	ツ	(ts)	コツツオ-サマノ, ツツオ- トオナジニ ハツオンスル
チ-	(tfo:)	Ĉ	Ĉ	ĉ	ĉ	チ	(tʃ)	チョ-チンノ, チョ-ト オナジニ ハツオンスル
ド-	(do:)	D	Đ	d	đ	ド	(d)	ド-ゾノ, ド-ト オナジニ ハツオンスル
エ-	(e:)	E	Ė	e	ė	エ-	(e:)	エ-ゴノ, エ-トオナジニ Hacuon スル
フ-	(fo:)	F	Ƒ	f	ƒ	フ	(f)	ウエノ, Hađi, Kuĉibiro ヲカルク, カンヂ, フオ- トハツオンスル
グ-	(go:)	G	Ĝ	g	ĝ	グ	(g)	ゴ-ケツノ, ゴ-ト オナジニ ハツオンスル
ヂ-	(dzo:)	Ĝ	Ĝ	ĝ	ĝ	ヂ	(dʒ)	チョ-ノ, Hacuon ヲ ニガラセテ, チョ-トイ
ホ-	(ho:)	H	Ĥ	h	ĥ	ホ	(h)	ホ-キボシノ, ホ-ト オナジニ ハツオンスル
ク-	(xo:)	Ĥ	Ĥ	ĥ	ĥ	ク	(x)	Kuukiトイシヨニ Hacuon シテガラ ホ-トイ
イ-	(i:)	I	Ī	i	ĭ	イ-	(i:)	Kuĉi ヲ ヲコニ, イ-ト ヒツパツテ, イ-ト ハツオンスル
ヨ-	(jo:)	J	Ĵ	j	ĵ	ユ	(j)	Nippongo) ヲヨ ツヨク Hacuon シテ ヨ-トイ
シ-	(zo:)	Ĵ	Ĵ	ĵ	ĵ	シ	(z)	ショ-トイ Hacuon ヲニガラセテ, ショ-ト ハツオンスル

イマダニナラズカ、EsperantoニツカウMoji、Jペンブデス。
 Nippongoデハアイウエオカキクク --- r ヌデ、イマダEsperanto
 デハ a(ア-)b(ボ-)c(ッオ-)ĉ(チオ-) --- j ヨニヨミヌ。イスパニ
 J Mojiヲツヰ、Hjooデシツカリオボエテウダサイ。

Jobina		Oomoji		Komoji		Hacuon		Hacuon no Ŝikata
		Insacu	Kaku	Insacu	Kaku			
ク	(ko:)	K	Ʒ	k	Ʒ	ク	(k)	コ-キ / コ-ト オナジニハツオンシル
ロ	(lo:)	L	ℒ	l	ℓ	ル	(l)	ŝita) サキハ Haguki ノウシカハツツケ ŝita) ノリヨガウカハ、イヲヂ ナガラ、ロ-トイ
モ	(mo:)	M	ƹ	m	ƹ	ム	(m)	モ-ジ / ヌ-ト オナジニハツオンシル
ノ	(no:)	N	ƺ	n	ƺ	ヌ	(n)	ノ-ト / ヌ-ト オナジニハツオンシル
オ	(o:)	O	ƻ	o	ƻ	オ	(o:)	オ-キ / オ-ト オナジニハツオンシル
ポ	(po:)	P	Ƽ	p	Ƽ	ポ	(p)	ポ-カ / ヌ-ト オナジニハツオンシル
ロ	(ro:)	R	Ƽ	r	Ƽ	ル	(r)	ロ-ツク / ヌ-ト オナジニハツオンシル
ソ	(so:)	S	ƽ	s	ƽ	ス	(s)	ソ-ス / ヌ-ト オナジニハツオンシル
ŝ	(ŝo:)	Ŝ	ŝ	ŝ	ŝ	シ	(ŝ)	ŝ-ジ / ヌ-ト オナジニハツオンシル
ト	(to:)	T	ƿ	t	ƿ	ト	(t)	ト-キ / ヌ-ト オナジニハツオンシル
ウ	(u:)	U	ƺ	u	ƺ	ウ	(u:)	ウ-イ ヨトガラセテ ウ-トハツオンシル
ウ	(wo:)	Ŭ	ŭ	ŭ	ŭ	ウ	(w)	ウ-トハツオン シル
ヴ	(vo:)	V	ƽ	v	ƽ	ヴ	(v)	F) Hacuonヲ ニガラセテ、ウ-トイ
ゾ	(zo:)	Z	ƽ	z	ƽ	ズ	(z)	ゾ-キ / ヌ-ト オナジニハツオンシル

Dai 12 nième

Nippongo kara Esperanto I

イヨイヨ コレカラ Esperanto ノ Benkjoo ヲ ハシメマシヨ。
マズ ツギノ カナモシニツキテ ヲ Roomaji デ カイテ シラシヤイ。

キエ ピア トラ トバコ サッポロ

コレヲ Roomaji - Nippongo ニ カキオエテ,

kimono piano tomato tabako Sapporo

ツギニ コノ コトバノ ヲ ヒツ ヒツ ヲ,

キエ-ノ エア-ノ トマ-ト タバ-コ サッポロ-ロ

ノ ヨ-ニ, アト カラ 2-banme ノ Boon ヲ ツヨク, ナカニ ヨム ト ヲ
マズ コレガ Esperanto ニ ナル デス。ソレヲ Imi ニ Nippongo
ノ マツタク オナシ デス。

Tango

Tegami ナ Bunsoo ヲ カク トキ ニワ イロイロイ Imiノ Kotobaヲ
シラシヤイ シラシヤイ オエ- カラ カキアラフマズ ナ, コノ トキノ Kotobaノ ヒツ
ヒツ ヲ Tango ノ イマズ。

デノ マタ エルニ エドツテ, ツギノ

アメリカ アジア アンテナ バナナ カナリオ カメラ

ノ イト 6ノ Tango ヲ Roomaji ニ カキオエテ シラシヤイ。

Amerika Azia antena banana kanario kamero

ノ イマズ。コノ Roomaji デ カイテ Tango ノ サイジノ "a"ノ モジ
ヲ ゼンダ "o"ニ カイテ。

Ameriko Azio anteno banano kanario kamero

ノ カクテ コレヲ Tango ノ ツギニ Esperanto ニ イマズ。

ソレヲ ツノ Tangoノ アト カラ 2-banme ノ Boon ヲ ヒツバシテ

アクリコ アズイオ アンター バナー カナリオ カキコ

トヨル Esperanto ヲヨエカニナリマス。
ソノツギニ

ガス テニス インキ

トイウ3コノ Nippongo ノ Tango ヲソノマ Roomaji ニオオス
ト、ツギノヨニ

gasu tenisu inki

トナリマス。コノ Tango ノ サイゴノ Moji ノ "u" "i" ヲ "o" ニ
カヒテ

gaso teniso inko

トスル Esperanto ニナリマス。ソレヲコノ Tango ㊦カウ ア
カウ 2-banme ノ Boon ヲバシテ

パン テニソ イーゴ

トヨバ イノ ゴス。 Nippongo ノ

パン ピンポン

トイウ Tango ヲ

pan pinpon

ト Roomaji ニオオシテ、コノノノ Tango ノ サイゴニ "o" ノ ヲ
ヲイフニカキクワヒテ

pano pinpono

トスル Esperanto ニナリマス。㊦カウコノ 2コノ Tango ノヨ
カウ㊦カウ 2-banme ノ Boon ヲカウバシテイクラカマニ

パー ピンポン

トヨバ イノ ゴス。

ゴノキヨオボイタ 16コノ Tango ノオサライヲシテオキマシヨ。

カタカナ	ROMAJI	ESPERANTO	(ヨミカタ)
キモノ	kimono	kimono	(キモノ)
ピアノ	piano	piano	(ピアノ)
トマト	tomato	tomato	(トマト)
タバコ	tabako	tabako	(タバコ)
サッポロ	Sapporo	Sapporo	(サッポロ)
アメリカ	Amerika	Ameriko	(アメリカ)
アジア	Azia	Azio	(アジア)
アンテナ	antena	anteno	(アンテナ)
バナナ	banana	banano	(バナナ)
カナリア	kanaria	kanario	(カナリア)
カメラ	kamera	kamero	(カメラ)
ガス	gasu	gaso	(ガス)
テニス	tenisu	teniso	(テニス)
インク	inki	inko	(インク)
パン	pan	pano	(パン)
ピンポン	pinpon	pinpono	(ピンポン)

コトエ 162) Esperanto / Tango 7 オボイタ ヲケ ンズガ。
2) 163) Tango 7 フラツ イル アダニ 2ツ) Koto ニ キツルタ
コト オボイタ。 ヲ) エツ ヲ。

① Esperanto / Tango / オボイ) Mojiガ イツエ "O" 7
オボイ イル ト イケガ

エ- エツ ヲ

② Esperanto 7 ヲム トケイ イツエ Tango / アト ナラ 2ツ

*) Boon 7 オボイニ ヲツク Hacuon 2ツ イケガ

ウエ) ①, ② ヲ Esperanto / Bunpoo / エツ ンズ ナラ シツカリ
オボイ オボイキバ オボイタ。

Bunpoo

Kotoba 7 オボイタ, Bunsoo 7 オボイタ 2ツ トケイ / Kimari 7
Bunpoo ト イタス。

Meishi

トケイ Kotoba / オボイ Hito / トケイ, Tochi / トケイ, Shi-
namono / トケイ オボイ トケイ Monogoto / トケイ 7 オボイタ Ta-
ngo 7 Meishi ト イタス。 オボイ フラツ 163) Tango 7 3ツ
Meishi ンズ。

Nippongo / Meishi ンズ Tango / オボイ) Moji ガ -o, -a,
-u, -i, -n オボイ トケイ オボイタ イツエ イツエガ, Esperanto
ンズ Meishi 7 ゼンガ -o 7 オボイタ イタス。

3) 3-2 Esperanto / Meishi 7, Tango / オボイ) Mojiガ
オボイタ "O" 7 オボイタ。

Nippongo / Koto, Mono, Neko, Tako ト イケ Meishi
オボイ) Moji ガ 3ツ O 7 オボイタ イタスガ, 2) 2ツ Esperanto /
3- ンズネ。

Gobi

Tango / オボイ / オボイ Gobi ト イタス。 オボイ オボイ オボイ。

Akusento

スニ ナソノエ セツキシタ ヌニ, Esperanto ノ ム トキノ Tango ノ サイゴノ Moji カラ 2-banme ノ Boon ノ ヲク ムカ, ヒキノバシテ ヲマナヘバ ナラズ.

Nippongo ナ Kusakari = ヲカハ Kama ノ トキコ ノ アリ テノ Kama ノ Ka ノ タカ ma ノ ヒカ シリサリ = Hacuon, Gohan ノ タカ Kama ノ ハンタニ Kama ノ シリサリ = ヲマナ.

コノニ Tango ノ シリサリニ ヲンタリ シリサリニ ヲンタリ シル コノ ノ Akusento ノ ヲキテ ム ト イラス. Jomu-kotoba ナラ Kiku-kotoba (トキ = kama, kumo, kaki, kami, Haŝi ナラ Hacuon ノ ナシ, Imi ノ ナラ Kotoba) ニテ Akusento ガ アリ Imi ガ ナラ ナラ Benri ナラ, Nippongo ノ Akusento ノ ヲケル バシ ガ ナラ イル. シカシ Esperanto ノ Akusento, バシ ガ Tango ノ サイゴ カラ 2-banme ノ Boon = クル ト ナラ Kotoba ニテ ハナナ ナラシテ イル ナラ.

Boon

スニ ナソノエ Esperanto ノ Moji ノ ヲキ a i u e o ノ 5コ ノ Moji ノ Boon ノ イラス. コノ Boon ノ Ŝion ノ ナラ ヲキ 1-onsecu ノ Hacuon ナラ Kotoba ノ ナラ.

Ŝion

Esperanto ノ Moji 28コ ナラ 5コ, Boon ノ ナラ 1コ, 23コ ノ Moji ノ Ŝion ノ イラス.

Onsecu

Kotoba ノ Ŝion ノ Boon ナラ ナラ ナラ ナラ ナラ, ナラ Kar ナラ Kotoba ノ ナラ Ŝion ナラ Boon ナラ ナラ Na ナラ 1-onsecu ノ Hacuon ノ ナラ Tango ナラ.

コノニ Onsecu ノ ナラ ノ Kotoba ノ ナラ Hacuon ノ 1コ, 2コ ナラ. ナラ, Kotoba ノ ナラ ナラ Onsecu ナラ ナラ Boon ノ Kazu ノ ナラ 2-onsecu ノ Kotoba ナラ.

Osarare (1)

イマズニナラマシキ Koto ノ オサシ ヲマシヨ。
 ヲサシ Mondai = コトヲ ナラサシ。

1. Nippongo ノ カ Roomaji, Moji, Kazu ノ イツ デス?
2. Esperanto ノ カ Moji, Kazu ノ イツ ナラサシ?
3. Esperanto デ ヲサシ Moji, カ Roomaji = ナ? Moji ノ カイテ コトナラサシ。

4. ヲサシ カ Esperanto-Siki Roomaji デ ナラサシ?
 シ チ ツ フ コ ヲ シ ギ ヲ フ フ フ シ ヌ シ ヲ フ フ フ
 ニ ヌ ニ ヲ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ フ
 シ ヌ シ ヲ フ フ フ フ フ フ フ フ フ

5. ヲサシ Moji, Hacvon ノ カ ナラサシ?
 fa fi fu fe fo va vi vu ve vo si zi ti tu didu
 ca ci ce co la li lu le lo ji je ŭi ŭe ŭo ĥa ĥi
 ĥu ĥe ĥo ŝa ŝu ŝe ŝo ĵa ĵu ĵe ĵo ĝa ĝi ĝu ĝe ĝo

6. ヲサシ Moji, Hacvon, ŝikata ノ Bunŝoo = ナラサシ?
 F V Ŝ Ĝ Ĥ

7. ヲサシ Kotoba, Imi ノ ナラサシ?
 Boon
 ŝion
 Bunpoo
 Tango
 Onsecu
 Gobi
 Meiŝi

8. Esperanto, Meiŝi, Gobi, Boon, カ, Moji, ナラサシ?
9. Esperanto, Akcento, Tango, カ = ナラサシ?
10. Tango, Boon, Kazu, Onsecu, カ, Kankei, ナラサシ?

(Kotae ノ コト Hon, Uŝiro = ナラサシ)

Dai 13 nième

Esperanto-ŝiki Roomaji / 333

Kimono, Piano, Tomato, Tabako, Sapporo 477 31
ŝion + Boon / Kataĉi = 477 111 / 477 Roomaji 477 477
111 Nippongo 477 311 477 Boon 477 11111 477 311
11111 Hacuon 477 477 477 477.

477 Esperanto 477 Boon 477 477 ŝion 477 477 Tango
ŝion 477 ŝion 477 477 Tango 477 477. 477 477 477, ŝion,
477 477 111 Tango 477 477 477 477 Benkjoo 477 477.

477

ka se mi to ru ŭa ja ĉa ce

477 477 477 Boon 477 11111 477, Nippongo 477

ka se mi to ru ŭa ja ĉa ce

477 477 Hacuon 477 477. 477 ŝion 477 Boon 477 11111 =

ak es im ot ur aŭ aj aĉ ec

477 477 Boon 477 477 477 477 477 477 477. 477
477 477 477 aku esu imu --- 477 477 = 477 "u" 477 Moĵi 477
477 477 477 477 477.

477 477 Hacuon 477 Rensŭu 477 477 477 477 Boon
477 477 477 477 477 477 477 477 Hacuon 477 477 477 = 477
477 ŝion 477 477 Hacuon 477 477.

477, 477, 477, 477, 477, 477, 477, 477, 477

477 = Hacuon 477.

477 477 477 477 477 "Esperanto," 477 477 477
477 477 E-s-pe-ra-n-to 477 477 477 477 477 ŝion
477 477 477. 477 477 477 477 477 Hacuon 477 477 477.
ŝion 477 477 477, 477 477 477, 477 = Hacuon 477 477 477
477.

Ŝion / マザル Kotoba

テウ ムナシ Ŝion / マザル Tiu Tango / Hacuon 7 ヲシユ
シテ ミマヨ。

Moŝi tra tri tre tro

Hacuon rō rli rlv rō

Imi (トアリヌケテ 3 (ヒョーニ (---スギル
ツラヌイテ (ヌイハニ (アマリニ

tra, tri, tre, tro ニウ ミナ Boon 𑖃 𑖄 ムシ ナイ ノテ,
ミナ 1-onsecu / Kotoba テ, Akusento 𑖄 ムナシ。モナシ
Boon 𑖄 𑖅 ムシ ムシ イヌナラ to-ra, to-ri, to-re,
to-ro r 2-onsecu = ナル ヨニ Hacuon シテナリヌ。
tra / トロ to ナラ 0 𑖄 トリナラ oto ナラ r ナラ。ナラニ
ト r Hacuon シテナリヌ。ナラ 3ツ / Tango / ト / ヨニカ
ト コナラ ナラ ナラ ト / Hacuon 𑖄 ヨウ ヲシユ-シテ ナラ。

Moŝi cent kvar kvin ses sep ok naŭ dek

Hacuon ムナシ 𑖃 𑖄 𑖅 𑖆 𑖇 𑖈 𑖉 𑖊 𑖋 𑖌

Imi 100 4 5 6 7 8 9 10

𑖃 𑖄 𑖅) 8ツ / Tango 𑖄 Boon 𑖃 𑖄 ムシ ナラ ミナ 1-onsecu /
Kotoba ナラ ナラ。ムナシ Boon 𑖃 𑖄 ムシ ナラ Akusento 𑖄
ムナシ

Moŝi jes jam ĵus pri ĉar dum sur laŭ

Hacuon イヌ ナラ シユス ナラ ナラ ナラ スル ナラ

Imi (ハイ (モ- ナラ 𑖃 𑖄 (ナラ ナラ ナラ (ヨウ
ソ-ナラ (スデニ ---ニ ムシ (---ナラ (---ナラ

2) Tango を Boon が 1 つあるから 1-Onsecu だ、アクセント
の つきませぬ。

Moji estas knabo skio akvo stampo

Hacuon エ-スタス ッナ-ボ スキ-オ ア-ク^ウオ ス-ム^ポ

Imi (---ダス (エ-ネン スキ- エズ スタンプ
--ガ^{アル} (オコノコ

ウエ) 5) Tango の エナ Boon が 2 つあるから 2-Onsecu の
Kotoba だ。ツキテ Akusento の “ア” から 2-banme, Boon
(Moji) の エナ^ニ ツキテ Boon) = ツキマスから Hacuon の
エナ^ニ エナ^ニ = ナル) だ。

Moji knabino akcento honesta strangulo

Hacuon ッナ^{ビー} ア^クツ^エント ホネ-スタ ス^トラ^ング^ーロ

Imi (エ-ジョ アクセント エ-ジキナ ヲツコナヒ
オコノコ

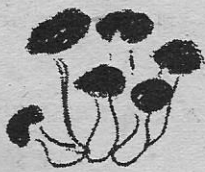
コ) 4) Kotoba の エナ 3 つあるから 3-onsecu
の Tango だ。ア^ニ の エナ^ニ ナル。Akcento (ア^クツ^エント) の
エナ^ニ ツキテ Boon, トコ^ニ ツキテ Hacuon エナ^ニ ナル。

Moji dekstra pseŭda ĉirkaŭ

Hacuon デ-クストラ プセ-ウダ チ-ルカウ

Imi (エナ^ニ ニセモノ (マリニ
オ-ヨソ

ウエ) Tango の エナ^ニ Hacuon の エナ^ニ Ren^{ŝu} スルコト。
Tango の ナガイ が 2-Onsecu だ、アクセント の エナ^ニ ナル。



室蘭エスペラント会の誕生

室蘭エスペラント会がとうとう誕生した。五八年九月二六日のよる、思えば長い陳腐の期間だった。

エスペラントの熱心な活動家加茂節子さんの奔走で、サメソフ祭を契機として、エスペラントに関心をもつ十余名の者が集ったのが五六年の四月十四日だから、その日から数えるとすでに二年半に近い月日が流れすぎている。もつとも、その間なにもしなかつたわけではない。それどころか一度焚じられたエスペラントの聖火を消さぬために、ねばり強い努力がこの聖火拳持者によってつづけられて来たのである。そしてこの拳持者は前記加茂さんと、最初から仲間の指導をしてこられた古い（三十年代学習）エスペラント子ストの平田岩雄さんのお二人。

最初の集いのあと、室蘭図書館の一室を借りて隔週一回の講習会がはじめられた。テキストは小坂先生の〈エスペラント講習用書〉であった。

このようにして発足当初は寂れさがるかに思われた希望の聖火であったが三月とたち、半年とすぎるとうちにだんだん出席が悪くなってゆき、学習にやさしいといわれるエスペラントの場合でも、他の語学講習会同様に細細の状況は避けられなかつた。それで会場を平田さんのお宅にし、三、四人の人達によって細々と、しかも根気強くつづけられるようになった。

その間加茂さんは私隠大会へ出席したり、昨年の名古屋大会までは出る参加したりして、エスペラントに対する愛情と熱意を示し、わずかに脱落をまぬがれている私共には大きな励ましを手えてくれた。

そうこうしているところへ三宅先生の（初級読本）が出たので、思い新たにまたこれから初めようと、残留三名に新人四名、復活者一名の八名で、今年の一月から再び平田さん宅で毎週金曜日（午後六時半から八時半まで）の会合がはじめられた。

そうしてこの九月、どうやらこうやら〈初級読本〉の学習を終えて会員はお互に一つのものをやり終えた喜びの顔を見合つたのである。

しかしながら、この九カ月は必ずしも順調にたどられた日月ではなかつたのである。一、二名の出入りは勿論あつたし、今此びをかわし合つ

ている会員の殆んど誰れもが、二、三週つまげとの欠席という黒星を持たなかつたわけではなかつたのである。それだけに一冊の本をまがりなりにも学び通したという長びが大きいのかも知れない。

このような試練を経てこゝまでたどりついた。この七名はもう脱落するようなことはおそらくあるまいと思われ、チーム、ワークも至極よろしい。このことは、今年の札幌大会に参加した五名によつて、その会場でエスペラントによる人形劇を披露したという、コメントアクトにしては大胆な試みによつてその一端はうかがわれることと思う。

〈初級読本〉を終えた自信？と長びを記念し、且また、そうなればもうのつびまならないのだという背水の陣を相く意味合いも含めて、この辺で室蘭エスペラント会の名をあげようではないかということが誰からともいい出されて、全会員異議なし！でかくは誕生をみたのである。そして十月五日の国際交通週間記念切手の発行を契機に、全会員それぞれ希望の国のエスペランチストに宛て、国際交通のカー信を出そうという張り切り方なのである。五六年の時とはまた違つた、一歩進んだ大きな希望にあふれているのである。

懇会の当夜更に一名の新人を加え、潜在会員も二、三名あるのでこれからは前とは違つてだんだん先太りになつてゆくことだろう。

なおつけ加えると、この間に、加茂さんへの連絡によつて、室蘭に近い地方で一人コツコツ学習をつづけている同志、成田成一氏の二度におわたる系蘭交友や、東京の安居院氏、京都の中原脩二氏等の系蘭があつて同志的交際をしたことは、エスペラントに対する認識と愛情を深め、私共の学習への力づけになつたことである。また今でも会員の皆が残念に思い、申込なくも思つているのは、英国の同志シンプキンスの系蘭の折加茂さんが旅行中で連絡がとれず、とうとう誰もお迎え出来なかつた事である。〈エスペラント〉に同氏の全国の同志訪問の記事や写真が載つたのをみた時、この残念と申込なさは一層深められたのである。

さとう 実

「むろ

去る
名前を
/月
までの
初級読
かお
た。こ
は終
ラント
会
てい
会
群
会
書
願

尚
今
交通
地図
後
さん
く
く御
私
願



「むろらん」より

去る9月26日に、ようよう「室蘭エスペラント会」というリッパな名前をもってウエ声をあけました。

1月から毎週金曜日に28人の出席者で18時30分～20時30分までの2時間、そのうち1時間はS-10 Hirataのリードによって、初級読本をテキストにして学ぶ他の1時間は、Kanto, Iudo, そして、Kabirudo などの楽しいKUNSIDOを平田さんのお宅で開いていました。これからも尚金曜会はつづけられますが、1応、初級読本をこのたび終りましたので、こゝで会をつくろうとウエ声がおこり「室蘭エスペラント会」として発足したわけです。

会員は12名、男子6名、女子6名でほとんどがoficista でしめています。役員は次の様に決まりました。

会長 シバラフ室蘭

幹事 平田岩雄(日鉄) さとう 実(簡保)

会計監査 佐々木実(日鉄) 鈴木政治 ()

書記 カモ セツコ(ナラ)

顧問 増田 真(室蘭工大) 星田 淳(苫小牧王子)

(上記お2人には目下御引き受け下さいます様にとお願いしている所です。)

尚、事務所は、室蘭市東町40 日鉄社宅東喫298号 平田方です。

今の所活動方針という方針はもっていませんが10月5日からの国際交通週向を機に、国際交通にちからをそそぎながら、春までには自身の地図めをしたいものと同志/同がおもっている事です。

後になりましたが、いつもかけになつて私達にお力添え下さつた平田さんの興さん、苫小牧からしばしば応援下さつた星田さん、そして、おゝくの Samidearoy のみなさんに、発会を機に、こゝに改めて厚く御礼申し上げます。

私達の仕事は、これからです、今后とも何卒御指導下さいます様をお願いいたします。

(カモ)

Ludo en nia kunsido!

Secuko Kamo

Mi estis tiel pensema, kiel ludo ekzistas nur por infano. sed la 44-a Japana ESP-Kongreso okazigita en Nagoya, kiu enhavis parton de amuzajoj, rakontis senvorte al mi, ke ludo kondukas eĉ plenaĝulon en la naivan mondon, kaj ke intima kaj juna atmosfero per ludo naskiĝas en kunsido.

Mi do volas prezenti kelkajn ludojn el "Per kio ni amuzu nin?" eldonita de Stockholmsocieto Esperanto. Ŝajnas al mi ke la ludoj faros gajan atmosferon, kaj plie eble helpos nian lernadon.

1) La kruela sep

Unu el la ludantoj diras la numeron unu (1), lia maldekstra najbaro diras du (2), ties maldekstra diras tri (3) ktp. Malpermesite estas diri numeron sep (7), ĉiun nombron, ekde kiu troviĝas sep (7) kaj la nombrojn, kiuj estas dividablaj per 7. Anstataŭ tiuj nombroj oni devas diri "tri". Kiu tamen diras unu el la malpermesitaj nombroj, tiu devas doni garantiaĵon kaj ekŝiĝi el la rondo. Post kiam iu ekŝiĝis el la rondo, oni komencas denove de numero unu (1) ĝis nestas nur unu sola el la kunludantoj.

(Ĉe nia kunsido tiu, kiu diras malpermesitan vorton, devas kanti esperante aŭ prezenti sian nekongatan lertaĵon poste la fino de ludo S.K.)

2) Kompletiga vorto

Iu en la societo ĵetas poŝtukon al alia kunludanto, nomante ĉe tio iun simplan objekton. Tiu al

kiu oni ĵetis la poŝtukon, devas senprokraste diri alian vorton, kiu konformiĝas kun la antaŭe dirita vorto. ekz: tabro - tuko, akvo - glaso, fingroringo ktp. Oni povas ankaŭ diri vortojn kun adjektiva finaĵo: ekz: blanka - pano, nigra - inko, fenestra - kurteno ktp. Se iu malŝue respondas aŭ aldonas nekonformajn vorton, li estas punata per garantiĝo:

3) Roman - ludo

Ĉiu ludanto havas paperslipon. Sur ĝi ĉiu respondas skribe la demandojn de la lud-gvidanto:

1. Kiu estis li (kontulo) ?
2. Kiu estis ŝi ?
3. Kie ili renkontiĝis ?
4. Kiam ili renkontiĝis ?
5. Kion diris li
6. Kion respondis ŝi ?
7. Kien ili iris ?
8. Kion ili faris ?
9. Kio estis la rezulto ?
10. Kion diris la homoj ?

Ĉiu ludanto skribas nur unu frazon sur ĉiu slip, faldas ĝin tiel ke la teksto ne estas videbla kaj poste transdonas ĝin al sia maldekstra kamarado. Fine oni laŭtleĝas la "romanoj".

室蘭工スペラント会規約

1958. 9. 26

オ1條 この会を室蘭工スペラント会 (Muroran Esperanto Societo) と呼び、事務所を、室蘭市東町40、日鋼社宅東隣298号に置く。

オ2條 この会は、室蘭地方在住の工スペランチストを以つて組織する。

オ3條 この会は、会員相互の親睦を深め、国際語工スペラントの普及発表を図るのを目的とする。

オ4條 前條の目的達成のため次の事業を行う。

1. 国際語工スペラントの研究、調査、発表。
2. 講演会、講習会、展示会の開催
3. その他目的達成のため必要な事項

オ5條 この会に次の役員をおく。

1. 会 長 1 名
2. 幹 事 若干名
3. 会計監査 2 名
4. 書 記 1 名

オ6條 この会に、總會の承認を得て、顧問若干名をおくことが出来る。

オ7條 会長は会を代表統轄する。

幹事は、会長をたすけ、会の運営にあたる。

書記は、会計並に一般事務に従事する。

オ8條 役員を選任は、總會に於て会員の互選による。

役員任期は1年とする。但し再任を妨げない。

オ9條 この会に次の機関を設ける。

1. 総 会
2. 役員会

總會は、年1回開催し、予算、決算、役員選任、規約の変更その他重要事項を協議、決定する。

役員会は、必要に応じ随時開催し、会の運営上必要事項を協議し、その実施に当る。

オ10條 会員の1/3の要求があるとき、及役員会で必要を認めるときは、臨時に總會を開くことが出来る。

オ11條、この会の至費は、会費及その他の収入金でまかなう。

会費は、月 50 円とし、毎月 5 日迄に納入するものとする。

会計年度は、年毎に従う。

オ12條、この規約は、1958年9月26日より実施する。

以上

小樽エスペラント会便り

小樽エスペラント協会では、本年度キ一回の入門講座を五月十九日以降、毎週月、木曜夕六時から、小樽保証牛乳会社二階で開催。講師は、高橋達治、横山良勝、竹内五男の五氏と報告者（早川昇）が順次交替して勤めたが、聴講生は多数の際で、九名を算えるにとどまった。同会場は七月十六日以降は、毎水曜夕六時半から山賀眼科待合室を充てるという事にした。

英國の同志 S-to Simpkins と藤本達生氏の一行を札幌から我れ我れが迎えたのは、七月六日の夕暮れ近くだった。其の宵、山賀眼科診察室では、両氏を迎えての談笑の集いがあった。両氏のお宿は小樽駅に近い佐茂屋だったが、お立ちの前夜などには、そこへも協会員の歓談の場は動いた。

両氏は小樽に在って、展望台の絶景から、驚くなかり、火葬場までを案内人なしに、またバスにも乗らずに、見物された。そのお姿のノーネクタイと共に、ちよつと我々には、オドロキであつた。高橋氏の *vida hejmo* を訪ねられたり、また道博桑園会場を御覧になつたりされた後でばらは、十日朝のバスで忍路のストーン、サークルや春部の古代文字洞窟にお寄りになりつゝ、余市へ出られようとされたが、余りにバスが混むようなので、途中の蘭島までは汽車で行かれた。時に、十時

七月二十六日には、もと札幌藤女子短大の同志で、今は日高平取高校の教諭をして居られるナカタ、アキ子嬢が、同じく同志で教諭の戸田嬢と、道博小樽会場御覧の歳、学生さん達多勢について御来樽になつたので、協会では其の宵、両嬢と其の御友人を山賀眼科診察室に迎えて、短時間ながら楽しい座談会を開催した。上一行は同夜は西陵中学に於いて一泊、翌日、道博小樽の両会場を見て、然る後に札幌の道博におもむかれるとの事だった。

第22回北海道エスペラント大会プログラム

13.00 受 村 委員長 坂下
委 員 増田、戸田、福島、稲野、三宅

13.10 } エスペラント普通科検定試験
14.10 } { 試験官 坂下、相沢、星田
{ 会 話 官 相沢、星田

14.30 大会開会あいさつ (司会者) 高橋(要-)
エスペロ合唱 (全 員)
洋備委員長あいさつ (洋備委員長) 坂下
大会議長選出
議長あいさつ (議 長) 吉田栄
祝電被徳 (4通)
地方会 事業報告 (各地方会代表)
オタル、ムロラン、トマコマイ、ユ
ニ、エベツ、ハコダテ、北大、サツ
ポロ

議 題 審 議

16.40 自己紹介とあいさつ (全員)
京都 中原氏あいさつ
17.15 記念撮影 (全員)
17.55 余興 (人形劇-ムロラン) (コーラス-サッポロ)(その他)
18.30 晩さん会、座談会
19.30 映 画
20.35 閉会あいさつ (司会者)
20.45 タギーゴ合唱 解散

天も
名、
未の
えら
覧会
は楽
なか

★ Lc

LA 22-a KONGRESO de HOKKAIDO ESP-TISTOJ SAPPORO LA 9-an de Aŭgusto 1958

Oficiala protokolo

1958年8月9日 (Sabato) は好天に恵まれ、我々の平和の集いに対し天も心からの贈物を我々 Esperantistoj に下さった様に思います。出席者 47名、欠席参加者 18名、計 65名と、Hokkaido Esperanto Kongreso 始つて以来の多数の samideanoj を迎え又遠く京都から samideano Nakaharaが見えられ又 Esperantisto の普通科認定試験を行うなど、又オニ日は北海道博覧会の見学など 蓋沢山の行事があつてオ一日目の札幌市産業会館三階ホールは楽しさに満ちあふれて受験者まで昨日迄の深刻そうな顔はどこにも見られなかつた。

La unua tago

Sabate, la 9-an de Aŭgusto
en Sapporo Sangjo Kaikan
(ĉe tria etaĝa kunvenejo)

★ La akceptejo malfermata 12. 30

Programo によると ekakcepto は 13.00 であつたが、13.00 にはすでに予定の半数が集ると云う好朝であつた。

akceptitaj membroj

realaj ĉeestantoj 47

forestaj partoprenantoj 17

tutaj partoprenantoj 54

- ★ Ekzameno 13.20 ~ 14.00
 ★ Saluto de ekkongreso 14.45
 de S-ro Takahaŝi Jooiĉi.

Malferma Saluto

"Sankta estas por ni la hodiaŭa tago.
 Modesta estas nia kunveno; la mondo ekstera ne
 multe scias pri ĝi....."

La vortoj estas prezentitaj de nia majstro d-ro Zamenhof okaze de la unua Kongreso Universala en Bulonjo. Al ni ŝajnas ke la momento estis la plej emocio-plena al d-ro Zamenhof. Kaj ni kolektiĝas rememorante la momenton unu fojon en ĉiu jaro.

Nu, karaj gesamideanoj, hodiaŭ ankaŭ estas benata. Nun ni ĉeestas ĉi tie el diversaj lokoj de tuta Hokkaido por festi la 22-an Hokkaido-Esperanto Kongreson.

Al ni ĉiuj la tago estas tutkore atendata de antaŭ jaro, ĉar ĝi estas bona ŝanco interkonsiliĝi pri diversaj problemoj pri esperanto kaj interkomunikiĝi samideaneme unu la alian.

Karaj gesamideanoj, jam la tempo estas preta malfermi nian Kongreson.

- ★ Ĥoro de Espero 14.50
 saluto de prepara komitato 14.55
 de S-ro Sakaŝita

Karaj gesamideanoj ĉeestantaj! Mi havas honoron saluti al vi en la nomo de prepara komitato de la du-dek-dua Hokkaido-Esperanto Kongreso. mi esprimas

sinceran
 lokoj en
 Kun
 ni dezira
 Mi
 sed ne
 Esta
 kaj plie
 Bonvol

親愛なる皆

オニナ
 挨拶上
 本日は
 存じま
 札幌の
 成され
 F-inoj
 ガタ諸
 今回学
 じます。
 畔に手
 昔小牧
 別。上
 本日は
 ました
 カであ
 意によ
 厚くお
 大会は
 りでさ
 お見え
 大いに
 待して

sinceran bonvenon al vi ĉiuj partoprenantoj el diversaj lokoj en tuta Hokkaido.

Kun multaj helpoj ni arangis kunvenon hodiaŭan ni deziras ke la kongreso estu tre kontenta por ĉi.

Mi pensis la kongreso estas festo ĝoja kaj gaja sed ne severa, ne celemoniema.

Estas ne taŭga por mi celemonia Esperanta parolado kaj plie mi ne kutimas paroli esperante. Estas tre bedaŭro.

Bonvole permesu min uzi japanan lingvon.

親愛なる皆様！

オニニ回北海道エスペラント大会準備委員会を代表いたしまして御挨拶申し上げます。

本日はお暑いところ全道各地より多数お集り頂きまして誠にありがとうございます存じました。吾々準備委員一同心からお礼申し上げます。昨年の大会以後札幌の同志が集会の都度本大会に就て相談し合い自然と準備委員会が形成されて S-roj アリマ、タカハン、アイザワ、西里、ゴトー、F-inoj フクシマ、マスダ、イナノ、ミヤケ、それに在り当時の F-ino ナガタ諸氏の御協力によりまして本日の盛大な大会を持ち得ました。特に今回学力検定試験を開催出来たことは大会を有意義にしたことと存じます。この会場も今年一月に予約しました。博覧会の前売券と発売同時手配致しました。本日の申込は 61 名で札幌 27、小樽 9、室蘭 5、苫小牧、函館、江別、由仁各 3、ヒラトリ 2、他道前、北見、厚田、幌別、上厚真、伊達各 1 となっております。

本日はニュージーランド領事館からエスペラント版の映画をお借り致しました。これは小樽の山賀博士の御指示と日本エスペラント学会の御協力であります。尚映写機とフィルム及び技師さんは北海道開発局の御好意によりまして、これは S-ro アリマのお世話によるものです。併せて厚くお礼申し上げます。

大会は年に一度各地からの同志が久しぶりに集つて楽しく語りあうお祭りでございます。堅苦しく考えないことに致しましょう。初心者の方もお見えで話せないしよく聞けないという方は日本語で結構と致します。大いに語りあつて下さい。又この機会に大いに雄弁を發揮される方も期待しております。今日はこの会場で楽しく過し明日は道博、夏祭り等、

この大会を有効に御利用されます杯念願致しまして御挨拶といたします。
*Fine mi deziras al vi feliĉan kaj gajan kongreson kaj dan-
kas elkore vian partoplenon! Dankon.*

★ Rekomendo de prezidanto 15.00

Aranganto の推薦で 函館の S-ro Jošida が全員の拍手をもって prezidanto に推された。

★ Saluto de prezidanto 15.03

de S-ro Jošida en Hakodate.

遺憾ながら書記が未熟なので *Saluto* は *Esperanto* で行われましたがそのまま速記する事が出来ませんでしたので概略を *Japanese* で記させて載せます。

私の旅な着が此の大会の試長をさせて戴ける事は大変光栄に感じます。始めに昨年の小樽の大会以来努力されて来た準備委員会の方々に心から感謝致しております。次にはるばる京都からお見えになりました著名な *Esperantisto* 中辰氏をお迎え出来た事は大きな喜びです。大会の大きな目的はあたたかい雰囲気を作る事でありますが、私はここにそれを感じて大変うれしく思います。最後にこの大会をたくみに *aranĝi* して下さる *Sanideano Takahashi* に感謝致します。Dankon!

★ Prezento de gratulaj telegramoj 15.07
de aranganto

“ゴセイカイヲシュクシ コンゴノゴハツテンヲイノル” (丸イスレン)
de Kjuŝju Esperanto Ligo

“ゴセイカイヲシュクス” (1インカイ)
de Hakuoka Esperanto Komitato.

“ヴァーヴ エスペラント ヴァーヴ パーツォ”
de S-ro Inoue en Hakodate

“タイカイバンザイ ミナサンオメデトウ アサンカオエルシコウ”
de S-ro Okamoto en Mikasa

“キユウヨウニテユケヌ ゴセイカイオイノル スガ”

de S-ro Sugaiara en Kamiacima

★ Raporto de Lokaj Grupoj 15.10

1. OTARU (S-ro Hajakaŭa)

Vole pardonu min ekparoli al vi ĉiuj pri la movadinto de nia Otaru Esperanto Asocio.

Depost nia lasta kongreso en Otaru, flue jam pasis dek monatoj kun ravedolĉaj rememoroj. Ĝus nun al mi venas la momentoj por rimarkigi iujn al vi ĉiuj kiel la agadoj de ni asocianoj.

Ĉi-jare nia elementa kurso estis okazigita de la 19-an de Majo al la 14-an de Julio ĉe la kompanio "Otaru Hoŝoo Gjunjuu Kaiŝa". Por instrui tie laboris kvar asocianoj iom post iom, nome S-ro Tacuŝi Takahaŝi, S-ro Joŝikacu Jokojama, S-ro Icuo Takeuĉi, kaj mi mem. Kaj tiam ni havis ĉirkaŭ dek gelnantojn. Ĝi ankoraŭ nun, kunligite kun la kunveno de la mezgraduloj, daŭras de la duono kaj sesa horo ĉiunmerkrede ĉe la malsanejo "Jamaga-Ganka", sub gvido de S-ro D-ro Jamaga. Sed tamen, tie nun mankas la originalaj gekomencantoj, tute bedaŭrinde. Ni kredas, ke ĉi malsukceso donos al ni multon en la estonteco.

La 20-an de Aprilo ni akceptis viziton de iu inĝeniero apartenanta al la vaporsipo "Hotakasan-maru". Li nomiĝis S-ro Takaŝi Kaŭai. Li promesis al ni, ke liaj fotografitaj ok-milimetroj-filmoj koncerne la vidindaĵojn de eksterlandoj estos prezentita por ni ĉiuj kiam li revizitos la urbon Otaru en ĵusa Aŭgusto. Sed tamen, mi estas tute bedaŭrinde, ke la anonco de Oosaka donita al mi lastatempe estas kiel jene:

Estimata Sinjoro

Ni finis tri monatan vojaĝon kaj revenis japanujon, sed bedaŭrinde mi ne povos viziti vian urbon.

Ĉar ni devos foiri rekte al usono de Jokohama en meze de tiu ĉi monato, nia venonta vojaĝo estas decidita kiel jene Kobe, Nagoja, Ŝimizu, Jokohama, San Francisco, Los Angeles, Panama, New York, Antwerp, Rotterdam, Hamburg, kaj poste denove Usono, Japanio.

Via T. Kaŭai

穂高山丸 川台隆史

Ĉiuj gesamideanoj ĉirkaŭ nia urbo ne estu pesimisma, mi petas.

La 6-an de Julio, ni, meatendite sed ĝoje pro la antaŭkonigo de Fino Satori Kita en Osaka, akceptis viziton de S-ro Simpkins kaj S-ro Hujimoto.

Ili tranoktis kvin tagojn en la japanmaniera gastejo nomata Sadoja, proksima de Otaru Stacio. Dum ilia restado, ili volonte vizitis S-ron D-ron Jamaga en ĉiu de tri vesperoj, kiam okazis nia interparola kunveno. Precipe prespera estis tiu de la dua vespero, okaziginta post nia bonveniga kunsido de japanmaniera restoracio.

La duan tagon ili rigardis la du dividitaĵojn de Otaru-Sekcio de La Hokkaidoo Granda Ekspozicio, akompanite de S-ro Takahaŝi. Ne miru, mi petas, ke ili la trian senĝvidite ĉirkaŭrigardis la urbon, komence de belvedera turo al la kremaciejo.

La kvaran, ili vizitis la Ŝoŝoen-Sekcion, eble senĝvidita. Reveninte de tie ili akceptis plurajn vizitantojn el nia asocio

Kaj, finfine venis al ni la adiaŭa tago, meevitebla matene de ilia kvina tago mi vizitis ilin ĉe

la gastejo, kie mi konsilis ilin rigardi la ŝton-
cirklon en Oŝoro kaj la antikvajn signojn surgrotaj
muraj en Hugoppe, survoje al Joiĉi, ilia destinta
loko. Ili trajne veturis al Rensima, de kie viziti
la ruinoj, je ĉirkaŭ la 10-a.

Nu, mi sopirante konigu al vi ĉiuj la venontan re-
viziton de s-ino Doris M. Worcester, angla vicdel-
egito de U. E. A.

Laŭ ŝia letero alveninta al mi je la mezo de las-
ta monato, ŝi antaŭvidis, ke ŝi ĉeestos la konferen-
con "Kontraŭ la A-H Bomboj en Tokio okazigota de
la 12-an de Aŭgusto ĝis la 20-an, kaj ke, denove
post la konferenco ŝi povas iri al Hokkaido kune
kun S-ro Eiji Deguĉi, la Prezidanto de "Oomoto"
kaj viziti nin en Otaru. Pro tio mi ĝoje atendas
pli konkretan anoncon de ŝi.

Tiel resume mi ĵus elparolis, kaj do restas neniu.
Koran dankon pro bona aŭskultado de vi ĉiuj.

2. MURORAN (de s-ro Sasaki)

室蘭に於けるエスペラントの活動報告を致します。

室蘭に於いてはいまだ学会支部は結成して居らず、活動はいたつて低
額で申込なく思つて居ります。しかし今年に入つてから1月10日より
s-ro 平田宅で10名の同志が毎週金曜日に集まつて三宅史平先生のエ
スペラント初級読本を中心にs-ro 平田の指導のもとに講習会を開いて
居ります。同志10名の顔振れはs-ro 6名 f-ino 4名で、その内学
会々員は5名です。今年目標はエスペラント学会室蘭支部を設立して
運動の基礎地盤を確立したいと思つて居りますのでよろしく御願ひ致し
ます。 (室蘭エスペラント金曜会)

3 TOMAKOMAI (de s-ro Hoŝida)

(苫小牧ストにより未着)

4 JUNI (de S-ro Nitta)

6.

皆さん私は本日の此の大会に参加出来ました事を心からうれしく思います。S-ro Takahashi の bonarango に対して、又 prepara komitato の皆さんに心から感謝致します。残念ながら由仁の活動の報告が出来ずアイサツのみに終わりますが、此の大会が成功裡に終る事をいのります。

(S-ro Nitta には誠に失礼ですが Esperanto のまま速記出来ず)
(Japano で書いた事をお許し下さい)

5. EBECU (de S-ro Macuo)

7.

Karaj Gesamideanoj!

Mi estas tre ĝoja ke tiu ĉi kongreso malfermas tre sukcese dank'al Sapporo-aranĝantoj.

Mi kore dankas ilin.

Nun, mi havas honoron raporti pri nia movado de Ebecu Esp. Societo, sed tio baldaŭ ŝanĝigos en malhonoro, ĉar ni faris neniu esperantistigi. Se mi scias pli, mi povas raporti jenajn.

1. de 7-an al 20-an Okt. 1957

Elementa kurso, ĉe la 江別産業会館 kaj mia laboratoria. Partoprenantoj 5.

Gvidantoj estas S-ro Arima kaj S-ro Macuo.

2. 28-an de Oct. 1957

Fondiĝa festo de Ebetu Esp. societoj ĉe 江別製粉 白銀荘. Partoprenantoj 18.

Tioj sukcesis pro la bonkora helpe de S-ro Arima.

3. Korespondado, kun alia landanoj kaj Yokosuka-esperantistoj.

Finfine, mi povas profeti ke nia grupo estos progresi plie per ĉi tiu atmosfera incito.

6. HAKODATE (de s-ro Joŝida)

ハコダテの 에스活動の現状をお話し致します。

我々の市はムロラン、トマコマイ、ユニ、等に比して特に Vigle ではありません。

我々の市の *Samideanoj* を紹介致しますと次の様です。イノウエタツヨリ、ヒサシ、オダジマサカエ、ノトヨシオ、モリヤケイジ、カワムラユキトシ 達です。で後の二人は新しい *samideanoj* です。彼等は昨年末習い始めたばかりですがとてもよい *Esperantistoj* になりました。どうぞ皆様の御指導をお願い致します。

7. HOKUDAI (de s-ro Niŝisato)

Karaj geĉeestantoj

Nun mi havas honoron raporti la agadon de Hokudai Esperanto-Societo, tamen mi tre tre bedaŭras vin raporti, ke mia klubo tute endormiĝinte de la lasta aŭtuno faris nenian rimarkindan agadon.

La lastan duonjaron ĝistiu ĉi aprilo mi tute ne povis agadis ĉar de diversaj aferoj kiel ĉiu jare.

En aprilo laŭ kutimo mi devis rebaloti, reelekti komitatanojn kaj mi ankaŭ ĝin volis, ĉar ambaŭ Macuda kaj Niŝisato jam estas en la lasta grado de universitato kaj tre okupitaj, sed bedaŭrinde mi ne povis, ankoraŭ ne povas ĝin fari ĉar tiu ĉi jare mankas sekvantoj. nenij sekvantoj nun estas en mia klubo. Do la du malnovaj komitatanoj ankaŭ tiu ĉi jare tenos la rolon de klubestro duonjare laŭvice.

En majo, kun granda espero mi varbis kursanojn kaj komencis elementan kurson, tamen tre bedaŭrinde kursanoj estis nur tri. Kiel lastjare, Macuda kaj Niŝisato gridante la kurson ĝin finis en la fino de Junio.

En majo kaj aŭgusto dufoje mi Hokudaianoj kom-

pilinte, eldonis la "Antaŭen", organon de Japana Esperanto-Ligo de Studentoj.

Kion mi nun parolis estas la tuta raportaĵo de mia kluba agado. Krom tio en julio mi mem gvidante s-ron Simpkins el Anglujo kaj s-ron Fujimoto, montris la kampon kaj konstruaĵojn de Hokkaido Universitato. Post kelkaj tagoj mi veturis al Tokio kaj en la okazo dufoje kunsidis Merkredan Kunsidon ĉe JEI, kaj ĝuis gajan tempon kun gesamideanoj. Tiam tute neatendite mi refoje renkontis s-ron Simpkins.

Dum la restado, unu vesperon mi kun amikoj vizitis D-ron Ossaka ĉe lia domo kaj estis tre varme akceptita de D-ro kaj s-ino Ossaka.

Nun mi jam parolis, kion mi volis raporti Dankon!
(北大エスペラント研究会 西里)

8. SAPPORO (de s-ro Arima)

Bonvenon, gesamideanoj!

Mi elkore gratulas pro la 22a Hokkaido Esperanta Kongreso.

Mi estas ARIMA-Yoshiharu, ano de Sapporo Esperanta Societo.

De nun mi raportas al vi ĉiuj pri la aferoj en mia societo. Sed ni ne havas la notindajn aferojn dum la ĉi-jaro.

Unue

Mi raportas pri la jaŭda Kunsido.

En la ĉiujauĝo je la 18a mi havas la kunsidon en la domo de s-ro TAKAHASI-Yooiti en Toyohira.

Nunaj ĉeestantoj estas 5 fiinoj kaj 6 s-roj. Kaj mi faras en la kunsido la lernadon de legado de mia lingvo.

Sed de antaŭ du-tri monatoj ni ekskluzive havis la preparan lecionon de la kapableca ekzameno.

Due

Mi raportas ke ni havis la elementan kurseton de Esperanto, de la 18-a de junio ĝis la 18-a de julio, lunde, merkrede, vendrede en ĉiusemajno, sume 14 tagojn.

Ni uzis la konferencejon en mia laborejo, Hokkajdo Disvolviĝa Buróo kiel la kursejo. Kaj la gvidantoj estis s-ro TAKAHASI kaj mi.

En la kurso ni havis 10 gekursanojn t. e. 3 fraŭlinoj kaj 7 sinjoroj.

Sed la unuaj gerestantoj estas 3 f-inoj kaj unu s-ro.

Trie

Mi raportas, ke ni bonvenigis 2 samideanojn, s-ron Simpkins el Anglujo kaj s-ron Huĝimoto el Kioto, en la 28-a de Junio.

Ili vizitis nian kurseton kaj la jaŭdan kunsidon, kaj ni okazigis por ili la bonvenigan kunsidon en la 30-a de junio vespere, en Humode Kaikan.

De la komenco ĝis la fino ili parolis kun ni nur esperante.

Ĉar s-ro Simpkins elparolis en angla maniero, mi malfacile komprenis lin. Sed ni ĝojegis, ke ni povis lerni konversacion kun fremdlandano.

Mi ripetas tiun ĉi raporton en japana lingvo.

ダイヤモンド事業報告ヲニッポン語デ繰リ返エサセテイタダキマス。

同志ノ皆サン ヨーコソ オイデ トサイマシタ!

ワタシワ 心カラ コノ 第 22 回北海道エスペラント大会ニ 祝詞ヲ 述ベサセテ 頂キマス。

ワタシワ サツボロ エスペラント会会員ノアリマヨシハル デゴザ

イマス。

タダイマ カラ サツポロエス会ノ事業ニツイテ 皆サマニ報告ヲイタシマス。シカシ ワタン共ワ コノ1年間ニ コレト言ウ事ヲ シテオリマセン。

マズ 初メニ

木旺会ニツイテ 報告 イタシマス

毎木旺日 18時カラ トヨヒラ ノ タカハシヨ-イチ氏宅デ コノ集リヲ開イテオリマス。現在ノ出席者 約 4-ino 5 S-ro 6 デス。

ソシテ コノ集リ デワ エスペラントノ読ミ方、訳シ方、作文、会話ノ勉強ヲシテオリマス。シカシ、2-3カ月前カラ 専ラ 検定試験ノ予習ヲシテ 来マシタ。

次ニ

6月18日カラ 7月18日マデ 毎週月水金 計14日間、エスペラントノ 初等講習会ヲ開イタコトヲ 報告シマス。講習会場トシテワ ワタンノ取場デアル 北海道開発局ノ会談室ヲ使イマシタ。

ソシテ講師ワ 高橋氏ト ワタンデシタ

講習会ニワ 婦人3名 男7名ノ10名ノ受講生ガアリマシタ。ガ 現在ノ残存者ワ3人ノ4-inoト S-ro 1人 デス

ソノ次ニ

6月28日ニ イギリスノ シンプキンス氏ト キョ-トノ フジモト氏 オフタリノ同志ヲ オムカエシタ コトニツイテ 報告イタシマス。

彼等ワ 講習会ヤ 木旺会ヲ 訪ネテ クレマシタシ、ワタン共ワ 彼等ノタメニ 6月30日ノ夜 歓迎会ヲ開催シマシタ。

最初カラ 終リマデ 彼等ワ ワタシタチト エスペラントダケデ 話シマシタ。

シンプキンス氏ワ 英語流ニ発音シマシタノデ、ワタンニワ ワカリニクイ デシタ

シカシ 外国人トノ会話ヲ勉強出来タ コトワ ワレワレニ 大キナヨロコビデシタ。

Do mi finas mian raporton.

9. GAKUDA I (Sapporo) (de S-ro Jamazaki)

私は学大札幌分校に勤めている山崎です。今私達の学校の活動について少々のべさして戴きます。

学生に Esperanto についての知識をもっている者が大へん少い株に思いましたのでまず Esperanto に関する資料の展示会を開いたり講演会を催したりして propagando をした後 Esperanto を学んだ着に外国語としての単位をやるという事で学生を募集した所 20 名ばかりの受講生を得る事が出来た。

★Diskutoj pri la proponoj 16.00

(敬称略)

La unua propono (de S-ro Niŝisato)

各学校に於て Esperanto を正課として入れる事及び Esperanto の教員免許状を出すように道教委に折衝することについて

Niŝisato — 大学の外国語の中の一つとして Esperanto を正課に入れ
る事については先ほど山崎先生も学大札幌分校の例を云つて居られ
たが せひこれは実行にうつしたい問題だと思ひます。

学大のことでかなり明るい希望をもつたのでありますが、現状のまま
ではまだまだ学校側の関心が薄く、どうしても外部からの働きかけが
その実現には必要であると思ふのです。一番可能性のあるのは、大学
の臨時講義或いは特別講義という形でエスペラントを講義に入れるこ
とで、エスペラントは教養科目或いは語学の選択科目として単位を与
えるのに充分の内容をそなえていると思ひます。

この線にぞつて問題を進めていただきたくここに提案致します。

もう一つ、これは先日 小坂先生及び三宅先生に伺つたのですが、文
部省からエスペラントの教員免許状が出るか否かは地方の教委がエス
ペラントを外国語或はそれに準ずるものと認めるか否かによるること
です。今後学校教育にエスペラントがとり入れられるようになる
と、免許状がやはり必要になるのではないかと思ひます。このことで、道

教委に免許状を出すよう折衝していただきたく、ここに二番目の向題を提出します。

Arima——その方法は北海道連盟としてか、それとも各個人で各々働きかけると云う事なんでしょうか。

Prezidant——S-ro Niſisato その点について説明して下さい。

Niſisato——個人として働きかけるのはあまりにも小さな力となつてしまい働きかけてもしなくても同じ結果になるんじゃないかと思ひます。例へば私達が学校へその話をもちかけても事務の窓口でかるくかたづけられてしまう、これは連盟として学校及び教育委員会にあたつてもらいたい。

Nitta——その通りです。若い人達よりも年を取つた人達の方が顔も太いし又押しもさくと思つたのですが。(笑声)

Ukon——この向題はただ今この席上で決議してその決議文を学校なり道教育なりに提出するのがいいんではないか。賛成者も多数の株にお見受け致しましたので。

Prezidant——では、この提案に対する賛否をおうかがいしたいと思ひます。……拍手多数でこれを決議致します。

Arima——毎年決議はするが、それで終つてしまうことがほとんどの株です。それでは意味がありませんので委員会を作るか、或る個人にこの仕事をまかせるか、いずれかにしたらいかですか。

Takahaſi——北海道連盟で委員を選定してこれにあたるのがいい方法と思ひますがいかがでしょうか。

Arima——各個人はそれぞれ仕事を持つてゐるので委員に選ばれても充分に活動は出来ないとと思ひます。これを少しでも個人の負担を減らす意味に於ては学校のまる所に委員を収り、その委員が出かけて行く株にしたらどうでしょうか。

Sakaſita——これは単に学校へ働きかけても学校単位としては行つ事が出来ないのではないが、これは道の教育長に働きかけるべきではないだろうか。

Ukon——立案の方法など細部にわたる向題は北海道連盟にまかせて、この実行及び方法は連盟が行うのが最もよい方法だと思ひますがいかがでしょうか。

Takahaſi——北海道連盟の委員が集るのはむづかしいから文書会議で方針を決定しよう。

Aizaŭa — この問題は学校だけで決るか、又は道教委が決めるものか全く解らないからジュンジョとして道教委にゆきかけるべきではないが、又この事は北海道エスペラント連盟にまかせていただいて細分化された事はそこで決めよう。

Niŝisato — 免許状に關しては道教委に、講義上にとりいれるか否かは学校別に交渉して行くべきであると思ひます。

Hoŝida — 前者の事は此の場で決議しよう。

Nakahara (el Kioto) — 皆さんの御参考までに申し上げますが、これまでに中学校の教員で Esperanto の免許状をもっている人がただ一人ではあるが居ります。そしてこれは即ち文部省が免許状を出したという事実は Esperanto をすでに外国語と認めた云う事で外国語として取り上げるかどうかと云う事は事実が認める事で問題にはならないと云う事です。又何でもいからこの事実を一つ一つ作つて行く事が我々の使命ではないか？

Prezidanto — 此の提案に対して再度賛成を求め決議したいと思ひます。(全員拍手) 賛成多数と認めます。そして此の提案を決議致します。北海道 Esperanto 連盟で委員になられた方々はよろしくこの問題を実行し実現する事をお願い致します。

La dua propono (de S-ro Arima)

来年度の大会の場所について

ムロラン、岩見沢、江別、ヒラトリ、札幌、小樽等が出たが結局次の所に成つた。

Nitta — 来年は Zamenhof 博士の生誕 100 年祭でもあるし、札幌以外の土地で行う事は汽車の便等を考へてもどうしても人数がへる様に思ひます。誠に Preparaj komitatoj は気の毒であるが特例として来年も札幌にしてはもらえないだろうか。

Sakaŝita — 今の新田さんの御意見の所に場所がら札幌の方がよいと云うのであればお引受します。

Prezidanto — 札幌と云う声が多い所に。では札幌と云う事でどうでしょうか。(拍手) では来年度の大会は再度札幌に決定しました。

Sakaŝita — 期日の点につきましては後ほど相談の上 Leontodo にで

ものせます。

La tria propono (de F-ino Kamo)

Hoŝida ———— これはカモさんの propono ですが 皆さんに聞こえる杯に私から話してくれと云われましたのでお話し致します。此の会場に若い人が多い杯ですが実際の会の活動、又将来は若い我々が先に立つてやらなければならないと思います。であるから晩餐会の時でも juna kunsido を聞いてはいかがでしょうか。(拍手)

Prezidanto ———— 賛成多数の杯です。では後ほど Juna Kunsido を開くことにします。

Sakaŝita ———— 若いというのは何才からですか？(笑声) 私はだめですか？

Kamo ———— 精神命令が若かければよろしいと思います。若いと思っている方はどなたでもどうぞ。

★Simpremento 16.40

時間がないため土地と名前のみ

★Saluto de s-ro Nakahara el Kioto 16.50

特別に京都から来られた中原氏の面白い話を皆さんで聞く事に致しました。このお話の速記は別頁にのせる事に致します。

★Fotografo de rememoro 17.15

仕事の都合上おそく成る人達が居りましたので amuzaĵo の後でと云う事になったのですが、空モヨウが悪くなったので再度、予定通りに変こうした。

★Aŭdadi bendan rekordon 17.30

Saluto de Edomondo Privat

Saluto de Lapenna

~40~

★Arm

①

②

③

★Ves

Parolado de Malmgren

これらは OTARUanoj の好意によって借りたものです。

★ Amuzaĵo 17.55

① "Marionetludo" el MURORANanoj

② Gitaro Solo de S-ro Niŝisato

- La Farruca
- Asturias (Legenda)
- Danza Espaŭola

③ Ĥoro de Sapporoanoj

Murorananoj の人形劇は本場の人形や瑠璃に勝るとも劣らない名演技で大根を抜く所などは賞讃の的であつた。又西里氏の gitaro solo はこれまた立派であつたが惜むらくは術の騒音によつてよく皆に聞えなかつたのが残念であつた。又 Sapporoanoj の Ĥoro は立派ではあつたが醸造業者には少なからず御メイワクをかけたがもしれないのが心にかかつて居た様です。

★ Vesper manĝo 18.00

Kun junula kunsido

前記の決定に基づいて junula kunsido が Vesper manĝo と同時に開かれた junulo は一方に集るはずであつたが maljunulo は一人も居らず (勿論戸籍上の年令に非ず) 全員参加した。産業会館が市の中心部に位しているので騒音がはげしく F-ino Kamo の声は全員には聞えず EVA の勸力会員である OTARU の S-ro Hajakaŭa によつて EVA の内容の説明があつた。EVA とは Esperanta Virina Asocio の略で意とするところは 平和な町を女の手で創り上げよう、女性解放を行ひ女性の地位を高めよう、世界に女性の手で本当の日本を知らせよう、等のスローガンのもとに出来上つた Esperantisto の婦人グループです。毎月 "Ĉerizo" と云う gazeto を発行して居ります。会費は月25円

であつて Viro も協力会員となる事が出来、現在北海道に会員は3名のみであるが将来はとつと多い会員で強力な活動をする予定である事、事業としては日本の文献を皆で少しずつ訳して一つに集めて外国に紹介する事であつたが *Junula Kunsido* では何等の決定も見なかつた。

★Filmprezentado..... 19.30 ~ 20.30

- ① NOVZILANDO
- ② PILOTA TERKULTURIST
- ③ VOJO AL KAMUIUSIPE

★Saluto de fermo..... 20.35
de S-ro Takahaši

★Ĥoro de Tagiĝo..... 20.45

La dua tago

Demanĉe, la 10-an de Aŭgusto
Rigardo de Hokkajda Granda Foiro

10日(日曜日)9時(a.t.m)迄に札幌産業会館前に集合、9時30分大通り発市営バスで乗園会場へ向つた京都の S-ro 中原を含めた13名と前日よりは人数は少数であつたが天気は前日にも増してよく、すばらしい見学日和であつたが日曜日の事とて会場は超満員で一時間ぐらゐるとほとんどばらばらになつてしまひ最後まで全員集る事は出来なかつたのが残念であつた。

Fino 大会書記 後藤 西里 記

京都市の中原さんのお話

— 北海道工ス大会の席上で —

北海道工スペラント大会にお集りに成つた皆さま、私は京都から比の大会に出席しようとあこがれてからもう七年もたつたのです所が私は貧乏な仕事を
して居りますので金と雨が無く金が出来ると雨がない雨が出来ると金が無い
と云う具合で、どうしても北海道へ来る事が出来ませなんだが、今度は金も
出来たし雨も出来たし、それで北海道へせひ行つて見度いと云う気持ちがあり
ましたので早速飛んでまいつたのであります。北海道は皆さんのいつも楽しく
暮されて居る所だと聞きまして私も相当なあこがれをもつて来たのであり
ますそして函館に未まして早速、札幌迄とんで来るつもりで急行列車に乗り
ました。で乗りました所が室蘭と云う停車場に着きまして室蘭と云う声を聞
きましたら、ホツと降りてしまったのです急行券は札幌まで買つてありまし
たが、それで一体どうゆう計画があるか？ 計画は全々無いのであります、
計画はどこでこしらえるかと云うと、着いた所が計画地でありまして、そこ
から色々計画を持ちましてそして旅行しようと思つたのであります。私の旅
行の方針はいつもそうゆう事でもう随分古い事で御座居ますけれども工
スペラントが生れて五〇周年に成りました時一九三一年、今から二十七年く
らい前で御座居ますが丁度その時工スペラントの五〇周年記念がポロランド
のバルソビーロで行われますので比ればいゝ記念だと思ひましてバルソビー
ロの大会をめざして行つたのであります。丁度その時リヨコーキユ事件が
始まりまして私が出る時にはリヨコーキユで事件が始つたのは七月七日で
して私は十二日に神戸を飛したのですが、その時まで、私の様な貧乏人が
どうしてヨーロッパあたりに行けたかと申しますと色々と皆さんに御参考
に成ると思ひますから一寸申し上げて見度いと申しますが工スペラントを長く
やつて居りましたけれども商人でございますから雨はなしそして又金もない
そうゆう小さな商人にはどうていヨーロッパなどに行くにはユメで御座居ま
すけれどもユメを実現するのが人間の本能でありましてどうして比のユメを
実現したかと云いますと、それには秘訣がありますからこれを申し上げて見
度いと思ひます。

それはどうゆう秘訣かと申しますと“止むに止まれず行かぬはならん”と
ゆう機会を作る事だらうと思ふんです。そして始に私は家内を納得させな

ければなりません、と云うのは金をオヤジが使うと家内が後から困ります。これとも納得させなければならぬが、これが一番難問題であります。それで家内にはだまって居ります。最後迄だまって居ります。そして私は大学に出入して居りましたから大学の教授連に私はこれからヨーロッパへ行って日本の文化を紹介する義務があると云う事は私は良心的な出版業者である。こうゆうふり出しで大学の教授連に船にそうゆう瓦な具合に云つて居うたのであります。所がカニヤの馬鹿野郎がつまらん事を云つて居ると云つて皆んな振向もしませんでした。

しかし私は心に決めたものがありますからそれがどんな瓦に考えられてもくり返しくり返し行く云う事を云つて居ります。そうすると近頃は時期を決めなければなりません。時期を決めると云う事はもうノツピキならんと云う事ですからそれで何月何日には私はヨーロッパへ行きますと云う事を発表しました。そうすると始め発表する時には自分で出来るか出れないか解らない事を発表するのですからずい分冒険が御座居ります。金も中々、相当ありませんと行けませんし、自分が出て行つた後家の方はどうなるか？等と考へますと中々腰もさまりませんが、そうゆう風にして周囲に私がどんだん宣伝をして居りますと口を開けばヨーロッパへ行くと云つて居るからあいつはヨーロッパ気遣いだと云う事になったわけです。そうしますとや、一年程前から日日を切つて申したものですから、我々日日がせまつてまいりますとどうしても居ても立っても居られないと云う事になつてしまつて、お前まだぐずぐずして居るのかと云う話になつたんです。そうではないもうちやんと期限を切つてありますからもうちやんと行くんだと云う話をしましてそれからそうすると皆んな行くか行かんか解らんけれども行くかも行くかも解らんし、行かんかも解らんと云う事になりますと周囲の空気がひよつとするとあいつが行くかも解らんぞと云う空気が生れて来る事になります。そこで自分が金が少し足りなかつたものですから親類で金を少し借してくれと云つて金を借りなければならぬ。金を借るにも苦心がいろいろありますがどうも仕方が無いから貸してもらわんさや困るんだと云う所まで行つて金も少し借りそしてそうすると家内はよそからのニュースを聞きまして本当か嘘か解りませんが怒つて居りますけれどいざとなりますとパスポートも貰わなければならぬそれで、とどけを出した、貰う運動もしなければならぬと云う事であちこち奔走して大使館やその方面へ行くわけですから行つて居りますと家内もそろそろ決心をしてそれじゃ仕方がない

から後を引受けるからどうぞ行ってらっしゃいと云う風になる解です。

又学校から金を貰つて命令で行く人は天山居りました。そう云う人は行って居りましたけれど私共の様に銭は無い術はなしと云う様な者は仲々出来ませんが地盤を長年にわたつて作つて居きますと云うと、もうとにかく自分で行かなくても放り出されると云う気持ちに追い込まれて来た時に、スパツと立つて行くと云うやり方で今から二十一年程前ですがとにかくヨーロッパへ行って見たのです。行って見るとヨーロッパとは比類なものが、思つたよりつまらんと云う感情がおこつたのは我々の耳に入るのはヨーロッパのいゝ所ばかり入つて来ますね、それで行つてみるという所もありますが悪い所もかなり多く見られます。

例へば道徳的な向題と云われて居ります汽車に乗る場合押すな押すなと云うやつは日本人特有なものだと考えられて居つたのですが、しかしドイツへ行って見てドイツではどうかと云うと成程一、二等の客はちゃんとやつて居りますがと云う事はゴチヤゴチヤ押しつけなくてもそこへ入れるからうまく行って居るわけですが、所が三等車になるとそうは行きません。ことに御婦人が特にアサマシイ、私共でも乗ろうと思つてヒヨット乗ろうとすると云わゆるボン（ヒジ鉄のまねをして）とやりましてそしてよろよろとして居る間にスーツと入つて行く、これはもう国際的な儀礼かも知れませんが、そういう風になつて居ります。でいずれの奥に於きましても日本人はそう大してヒゲすべき者では無いと云う事を感ぜられた解です。

エスペランティストはどここの国へ行つても云うに云われぬ心の暇みがあり同じ気持ちの持つて居る者が集つて居るらしいんです。どこへ行つても本当に十年も二十年も昔から付合つて居る友人の様に思へる。当方がそう思うと向うもそう感じるらしい。此れはまあ心理学の教授が私に教えてくれたので本当かも知れません。こちらが思つて居る事がそなたに通じると云う事ださうです、でそれは学問的には私は解りませんが全世界のエスペランティスト少くもエスペラントをなめて行くと云う運動に参加して居る人は随分、皆んないゝ人であると私は感じるわけです。

今日私がここにおうかがい致しまして非常に位の高いお方もいらっしやいます、又あまり位の無い人も居られますけれどもそう云う人々の間にちつとも分け隔てが無く、今さつき青年とか青年で無いとか云つて居られましたけれども、もう青年で有ろうが無かろうが、年なんか超越してお互に手をつなぎ合つて行く事が出来るのがエスペランティストの特長

だ”と思います。そうですから人間の年令について私は一つの定義を持って居ります人間と云う物は生命が各個に於て違ふけれども生れてから死ぬと云う事だけははっきりして居て、百歳三百年も四百年も生きて居る人は有りませんから、その内皆死んで行く、比処においてに成られる方々が六十人ほど有りますが、赤軍私共が大会を開けますれば比の内何人死ぬか？又は死なないかも解らないと思います。死に蒙つたの年数を神が人に与えたと云う事は絶対に解りませんから、私は現に六十五才の令よひを持って居ります。先程山崎さんが俺はお前の家には僕が頃行つて居つたんだぞ”と云うお話を御座居ましたけれども私は山崎さんの顔は忘れてもそれは間違の無い事だと思ひます。そして先程のお話の様に俺は六十五才になつたと、私も同じ様に今年六十五才になりました。それで今はエスペラントの運動では非常に残念ながらオニ陣にかまえて居ります。

オニ陣は青年に、オニ陣は老年にと、こうゆう風に京都では成つて居ります。と申しますのは老人がいつまでも出しゃ張つて運動をして居りますと青年が運動をしようとする勇氣が缺けてまいります。でなんでもかんでも年寄に頼まなければ、又年寄の気持をうかゞわなければ運動が出来ない。即ち動きにくくなるのですから運動の方針は今後年寄はオニ陣に引いて、オニ陣の青年がやりやすい様に助ける方向に向つて頂きたい。

例へば金の無い時は学生が金を取せんでももう相当の地位について居る年寄がやるか又は会場の何をするとか年寄に成りますと顔が大分きいて来る様に成ります。その顔を利用して今の免許の運動でもその顔を一つと並べてぐつと押し込んで行くと比較的スルスルと物争が解決すると思ひます。ですからエスペランティストは一致団結して何んでもかんでもそうゆう風にしてやるとかかなり立派な仕事が出来ると思ひます。それとエスペランティストで今足りぬと思ふ事はエスペランティストの政治力の応用だと思ひます。エスペランティストが原水爆反対の運動を決山やつて居る人も居りますけれどもそれらの人々は本当に身に付いた運動をして居ると云うのは、各国の人々との間にお互に心から了解をし合つて通信をし合う、そしてその全世界の人々が原水爆反対をやると云う事が、これに対しては非常に努力をして居る解です。で先程お話しして居られたエスペランティストのいわゆる *Modesta estas Nra Kunveno*、即ち謙讓の美德をあまり發揮しすぎてそして政治的にどんどん活動する事が缺けて居ると思ひます。それは何と申しましょうか人類の爲に仕ぐ我々の仕事と云う物は全く聖なる仕事で御座居ますから、聖なる仕事で有るならば、国家又

は都市や団体からの公的な援助資金が堂々と貰って差しつかえ無いと思
います。少くとも日本に於けるエスペラント運動に対して一億円の予算
を国家が保障して毎年一億円の金はエスペラント運動にやるからそれで
充分活動しろと云って予算を組むと致しますと事務局が方々に出来て北
海道には二十人の事務員を置き京都には何人の事務員を置き事務所はど
こどこに建てゝやると云う事に成りますと、そこで働いている人は何を
するかと云うと朝から晩までエスペラントの仕事が出来る解です。そし
てこれだけの大きな力で日本のエスペランティストが全世界に向けて平和
運動をしますと、もう平和は日本からと云うスローガンをかゝけて全世
界の平和は保たれる様になるだろうと思ひます。これが私のユメであり
ますでそうゆうのを我々はこれから養って行って自分の食しいポケット
から手紙の料金を出してやる様では仲々運動は盛んに成りませんから、
そんな意味に於ても政府や各都道府県の庁らもどんどん取って、そして
活動すれば二三年の間に随分大きな活動が出来る解です。此れはユメで
ありますけれども先程私が申しました様に、皆様がござって、こんな大
ボラを吹けばユメはやがて現実になるのであります。

つまりない事を申しましたけれども、とにかく私の四十五、六年のエス
ペラント生活で色々感じた事は私共の様な、そうでなくても工場で働い
て居る人々の様な困も無く金もないと云う人が国際的に活躍出来る人は
本当にエスペランティストのみだろうと思ひます。皆さん希望を持って頂
いてなを国内の京都、札幌、京都、望雨と云う風な場合でも常に交流す
る事が大切だと思ひます。もし皆様の中で京都におこしに成る時は中原
入手紙を書いて置くに向うで安心して娘一人でも旅行させる事が出来る
と云う具合に国内に於てでも、交流を盛んに致しますればエスペラント
の国がより住みよい国に成ると思ひます。つまり事を申しましたが、
こんな希望を持って居ります。それからもう一つ忘れない内に皆さんに
おうかゞいしたいと思ひますが、今から十二三年前ですがちょうどオニ
次大戦が終結を挙げまして、もう全く人々は悲歎のどん底に落ち込んで
食料は無い交通は不便だと云う時に、私の店に一人の青年が来てどこか
有名な神社がお寺の壁にはつてあるものか、又は唐紙が解りませんが鷹
の傍が十枚ばかり画いてある。その筆跡は京都の画家なんかに見せたら
非常に立派なものだと推奨されるものですが、それをぐるぐる包んで私
の所に持って来られて、これは何処かの有名な特だけれど誰が書いたか
解らないが一つ京都でだれかに売ってくれんかと云う解です。で錢を一

つこしらえ度いと云うので持つて来られたお方があるわけです。私は現在でもそれをどうしてお返ししようかと思つて居りますが受取つた名前も忘れて誰が持つて来たか解らないと云う様なものが一包ありまして、私の懐笥の中に完全に保管して御座居ますから、どなたかお氣付が御座居ましたら、私に云つて頂きまして早速小包でお送りしますからこれは別の話ですけれどもお願いして矢礼さして頂き度いと思ひます。

どうも有難う御座居ました。

Zamenhofa Festo

札幌

12月14日(日)12時から17時すぎまで、坂下清一宅でひらいた。

参加者S-10人、山崎教授はじめ8名、f-inoj 5名計13名。

La Espero の合唱で開会し、自己紹介のあと、記念写真をうつし、当日は急用のため欠席されたS-ro 吉原正八郎から贈られたZamenhofa Festo のESP文入り大型De Koracia Kuko にますナイフを入れ、祝福と感謝をもつておいしく頂いた。

14時ころ、小樽のD-ro 山賀宅で開催中の小樽エス協会のZamenhofa 祭会場から電話を通じてS-roj 山賀、高橋、江口のgratulaj Vortoj や会の様子がおくられてきた。札幌からはS-roj 坂下、アリマ、高橋がそれぞれよろこびをのべ、会の様子をつたえた。

引きつづき、おしるこ、おいなり、ミカン、リンゴなどをたべながら、去年の北海道エス大会の準備、Ĵaŭda Kurso de la Esperanto-Asocio の運営法その他Dirersoj ESP. temojについて話し合い、あたりの暗くなるまで楽しい時間を過ごし、最後にLa Tagiĝo を合唱して閉会し、各々帰途についた。

(アリマ)

小樽

小樽エスペラント協会では例年の様に花園町D-ro 山賀方で12月14日 右午1時よりZamenhofa festo を行った。参加者は学生4人とges-roj Takakaŝi de la Esperanto-Asocio (Lumi Kay Ami) を交えた14人であった。

大会々計報告

収入の部

出席参加費	200 × 47 =	9,400
欠席参加費	150 × 15 =	2,250
晩サン会費	150 × 45 =	6,750
検定試験料	200 × 9 =	1,800
博覧会々券	$\left. \begin{array}{l} 150 \times 2 \\ 130 \times 9 \end{array} \right\} =$	1,470
寄附金 (下記通り)		1,400
繰越金		797

支出の部

会場費 (産業会館使用料)		2,400
晩サン会 折詰	150 × 45	6,750
菓子代	30 × 45	1,350
お茶	コーヒー	2,800
博覧会々券		1,430
学力検定試験料		1,800
通信費		1,877
写真代		1,625
雑費	フィルム 安全ピン 用紙 インク	1,473
報告書代 (Leontodo 分担)		2,000

計 23,867

計 23,505

差引残額 (来年度に繰越) 362

欠席参加申上着で会費未納 2名 300円 は受入員が繰越金に計算します

寄附金内訳

小樽工友協会	500
函館吉田氏	500
小樽山賀氏	200
上厚真菅深氏	200

1,400

第22回北海道エスプラント大会参加者名簿

○印は不在参加

1	早坂 基	小樽市	10	西里 静彦	札幌市
2	江口 晋吉	〃	11	相沢 治雄	〃
3	早川 昇	〃	12	河野 広道	〃
4	アリマヨシハル	札幌市	13	星田 淳	苫小牧市
5	阪下 清一	〃	14	竹内 五男	小樽市
6	山崎 久蔵	〃	15	吉田 宗	函館市
7	三宅 公子	〃	○ 16	兎玉 本夫	東京都
8	増田 泰子	〃	○ 17	桐生 育保	札幌市
9	イトー セイチ	北見市	18	後藤 義治	〃

- 19 ナカタ アキコ 平取町
- 20 山 賀 勇 小樽市
- 21 ト 夕 ユキコ 平取町
- 22 高 橋 要 一 札幌市
- 23 井 上 一 函館市
- 24 斉 藤 圭 司 厚田村
- 25 田 辺 至 苗前市
- 26 後 町 若 二 札幌市
- 27 大 川 健 治 小樽市
- 28 平 田 若 雄 室蘭市
- 29 山 本 昭 二郎 小樽市
- 30 山 本 夕工コ 札幌市
- 31 当 摩 蜜 三 〃
- 32 稻 野 恵 子 〃
- 33 カ エ ヒツコ 室蘭市
- 34 佐々木 実 〃
- 35 鈴 木 正 治 〃
- 36 佐 野 澄 子 〃
- 37 佐 藤 真由美 〃
- 38 西 忠 姓 札幌市
- 39 松 田 勇 三 〃
- 40 佐 藤 由起子 〃
- 41 鶴 近 庄次郎 〃
- 42 滝 和 美 〃
- 43 松 尾 文 夫 江別市
- 44 八 木 隆 二 〃
- 45 石 崎 幸 夫 〃
- 46 新 田 忍 男 由仁町
- 47 菅 原 鉄 男 厚真村
- 48 内 海 和 彦 札幌市
- 49 泉 谷 昭 典 由仁町
- 50 外 山 健 子 由仁町
- 51 畑 山 紀 小樽市
- 52 吉 原 正八郎 札幌市
- 53 和 田 澄 子 〃

- 54 高 橋 達 治 小樽市
- 55 小田島 栄 函館市
- 56 福 島 昭 子 札幌市
- 57 橋 内 和 男 〃
- 58 木 村 喜 任 治 〃
- 59 谷 川 揚 子 苫小牧市
- 60 前 田 幸 一 小樽市
- 61 中 原 脩 司 京都府
- 62 仁 保 武 親 札幌市
- 63 加 藤 亮 子 苫小牧市
- 64 斉 藤 逸 代 三 札幌市

参加者都市別一覽

都市名	参加	不参加	計
札幌市	21	7	28
小樽市	7	3	10
室蘭市	5	1	6
江別市	3	0	3
苫小牧市	3	0	3
函館市	1	2	3
由仁町	2	1	3
平取町	2	0	2
北見市	1	0	1
厚田村	1	0	1
京都府	1	0	1
東京都	0	1	1
苗前市	0	1	1
上厚真村	0	1	1
計	47	17	64

「エスペラント普通科検定試験」 問題集

エス文和訳

中国のEsp.運動が再び盛になり出しました。次の文はその報道の一部です。一つ皆さんもこれに負けないようにやってみてください。さば全文を読んでみて線の引いてある所だけ訳して下さい。
(以下これに準ず)

⁽¹⁾ Kelkaj komencantoj, kiuj eklernis en printempo 1957, jam korespondis en oktobro kun 66 esperantistoj en 12 landoj.

Unu el ili diris: "Laŭ vortoj de Lenin, scio de unu plia fremda lingvo egalas al unu plia fenestro por la domo. Sed ⁽²⁾ lerninte Esperanton, mi sentas, kvazaŭ, malfermigus fenestrojn en ĉiuj flankoj de la domo."

エスペラントと平和問題は切っても切れないつながりがあります。アインシュタインのことばからつぎの題を。

⁽³⁾ La plej multaj el ni ne estas neŭtralaj en siaj sentoj, sed kiel homaj estaĵoj ni devas ĉiam pripensi ke, se la disputaj demandoj inter Oriento kaj Okcidento devas esti solvataj, ⁽⁴⁾ ili nepre ne estu solvataj per milito.

Privatは柯んといつても名文家です。UEAの基礎をさざいたHodlerのことについて最近次のように書いています。

Mi konis Hodler jam de frua knabeco, ĉar ni kune sidis en la sama gimnazia klaso kvankam ⁽⁵⁾li estis du jarojn pli aĝa. Tiun altan, malgrasan knabon, fieran kaj silenteman, mi ĉiam admiris ĉar li ŝajne legis ĉion, sciis ĉion kaj komprenis ĉion. Aparte kaj sendepende ni estis lernintaj Esperanton el trovitaj broŝuroj kaj kiam ⁽⁶⁾ni surprize malkovris la fakton, ni fariĝis amikoj medivideblaj.

和文工入試問題

1. あなたは きょうだいが なん人ありますか？
2. わたしは かれが正しいと思いました。
3. この夏はどちらへ御旅行ですか。
4. 自分のことは自分でしなさい。

HEL 会員名簿

昭33-11月現在

吉田	栄	函館市船見町 43
小田島	栄	函館市外上残町久根別 7
井上	一	函館市杉並区 40
平田	岩雄	室蘭市東町日鋼社宅東雲 298号
力毛	セッコ	〃 知利別町 3-103
佐々木	実	〃 本輪西町富士鉄社宅 251-1
鈴木	正岩	〃 幸町 34
佐野	澄子	〃 東町末広
佐藤	真由美	幌別町字上鷲別 15
星田	淳	苫小牧市王子町 北光寮内
谷川	楊子	〃 〃 〃
加富	リコウ子	〃 〃 〃
岩岸	忠孝	〃 緑町 道立深根町
関	向祐	〃 山手1区 16号
ナガタ	アキコ	沙流郡平取町字平取
トダ	ユキコ	〃 〃 〃
山賀	勇	小樽市花園町東 3-11
高橋	達岩	〃 桜町 307
江口	晋吉	〃 興沢町 4-22
早川	昇	〃 緑町 2-2
前田	幸一	〃 花園町西 2-17
早坂	基	〃 真栄町 近藤富子方
竹内	五男	〃 汐見台町畑 13 高橋善次方

山 本 昭 二 郎
大 川 健 治
畑 山 紀 茂
上 参 登 天
中 沢 天 眼
坂 谷 卓

小樽市清水町34
〃 最上町16 十和田方
〃 花園町東1-23
〃 緑町1の1
〃 花園町東4の22
〃 花園町東4 池田製菓内

坂 下 清 一
ア リ マ ヨシハル
相 沢 治 雄
高 橋 要 一
西 里 静 秀
山 崎 久 蔵
河 野 友 道
鶴 近 庄 次 郎
桐 生 育 保
後 藤 義 岩
木 村 喜 任 治
枡 内 和 男
東 宅 公 子
三 田 泰 子
階 野 患 子
稻 田 勇 三
松 田 海 和 彦
内 原 昭 八 郎
吉 田 澄 子
和 島 昭 子
福 藤 田 起 子
佐 本 夕 工 子
山 本 町 若 二
後 町 保 武 親
仁 藤 龜 代 三

札幌市北1 東9
〃 北24 西9
〃 菊水東町7
〃 豊平5条9丁目 道管住宅 933
〃 南16 西5
〃 南23 西13 公宅
〃 北18 西6
〃 北16 東1の9
〃 北12 西14
〃 北8 西6 道新北8系
〃 大通り東8
〃 北13 西3
〃 北2 西26
〃 北17 東8
〃 琴似町宮ノ森12
〃 北7 西18
〃 北4 西25 高坂方
〃 山元町 347
〃 南3 西13
〃 豊平3条1丁目
〃 豊平2条11丁目
〃 北22 西9 小野武方
〃 北20 西7 イズミソウ内
〃 琴似町宮ノ森147
〃 南1 西3 HBC内
〃 北19 西5の20

浪 滝 当 高 山 葛

松 八 石

新 泉 外

イ

田 池

育

管

因

木 竹

兒 田

浪	越	春	夫	札幌市南5 西3
滝		和	美	札幌郡豊平町中ノ島 青木方
当	摩	憲	三	〃 〃 月寒6区
高	木	貞	夫	札幌市南13 西13 吉村方
山	路	彪	峰	〃 北14 東7
尊	西	謙	三郎	〃 伏見町 1512
松	尾	文	夫	江別市緑町東4 江別製粉内
八	木	隆	二	〃 〃 〃
石	崎	幸	夫	〃 〃 〃
新	田	為	男	夕張郡由仁町字三川
泉	谷	昭	典	〃 由仁町
外	山	雅	子	〃 由仁町市街 60
イ	ト	セ	イ	北見市寿町 24
田	辺		至	留萌市千鳥町 留高寮
池	島	与	三吉	〃 寿町 1-61
斉	藤	圭	司	厚田郡厚田村大字別狩
菅	原	欽	雄	勇払郡上厚真局区内鯉沼
因	藤	幸	子	虻田郡京極村字脇方
木	津	義	雄	旭川市9条9丁目右1
竹	吉	正	広	〃 1条通り7丁目左4
兒	玉	広	夫	テイネ町
田	中	貞	美	本島市工バ町1282 中電社宅32号

HEL 収支報告

(収 入)		(支 出)	
大会板払戻り	3,300	#20 印刷代	3,100
HEL 会費 (下記)	1,450	全送料及通信費	1,044
旧号売却代	120	振替口座手数料	60
板受博覧会券 4枚	520	日本大会祝電	80
		板払日本大会費 4人	600
収入計		支出計	
	5,390		4,884

繰越残 + 収入 - 支出 = 残高
 4,348 + 5,390 - 4,884 = 4,854

HEL 会費内訳

月日	氏名	金額	年次		
			32	33	34
5/26	力モセッコ	100			100
6/14	兒玉 広天	250	100	150	
8/5	橋内 和男	100	100		
8/9	早坂 基	300	100	200	
"	当摩 憲三	200		200	
"	滝 和美	400		200	200
10/10	坂下 清一	100		100	
		1,450	300	850	300

振替口座 小樽 5240 残高 (33-11-30)

HEL 残 + 大会残高 + 大会報告書頁担未払分 = 計
 4,854 + 362 + 2,000 = 7,216

北海道エスペラント連盟規約

1. この連盟は、北海道エスペラント連盟 (HOKKAIDO ESPERANTO LIGO) とい
い、事務局を札幌市におく。
2. この連盟は、北海道在住のエスペランチストの中の希望者または地方会各団体を
組織する。
3. この連盟は、北海道におけるエスペラントの宣伝と実用をはかり、民主的文化の
向上に専心し、世界的な交流をはかることを目的とする。
4. この連盟は、目的達成のため次の事業をおこなう。
 - a. 機関誌、印刷物の発行
 - b. 講習会、展覧会等の開催
 - c. 日本エスペラント学会、その他のエスペラント団体との協働
 - d. 内外諸文化団体との提携
 - e. その他
5. この連盟は年1回、北海道エスペラント大会を開催する。
6. この連盟に、次の役員をおく。

委員長 1名 事務局長 1名 常任委員および委員 若干名
7. 委員長は、この連盟を代表する。
8. 各委員の任期は、定期大会から次の定期大会までとする。
9. この連盟の会費は、1名につき年額 200 円とする。
10. この規約は、大会の決議がなければ変更することができない。

1946年 9月 22日 決 定
1948年 11月 3日 才1回改正
1954年 9月 23日 才2回改正
1956年 9月 23日 才3回改正

北海道エスぺラント連盟役員一覽

(1954 9 23 改選決定)

委員長	坂下清一	札幌市北1東9 (北工電氣株式会社社長)
事務局長	相沢治雄	札幌市南水東町ク丁目 (定山溪鉄道電車々庫助役)
常務委員	アリマヨシハル	札幌市北24西9 (北海道開発局管轄部計画課長補佐)
	高橋要一	札幌市大通東8 (北海道ヒラノ袴社KK勤務)
	西里静彦	札幌市南16西5 (北大学生)
委員	山賀勇	小樽市花園町東3-11 (山賀眼科医院々長)
	高橋達治	小樽市桜町307 (小樽海員学校教官)
	平田岩雄	室蘭市東町日鋼社宅東雲298 (日鋼社員)
	新田為男	夕張郡由仁町宇三川 (由仁町収入役)
	藤井沢司	岩見沢市4条西15丁目 (岩見沢保健所職員)
	竹吉正玄	旭川市9条9丁目右1号 (旭川郵便局)
	菅原鉄雄	勇払郡厚真村上厚真 (中学校教員)
	吉田栄	函館市船見町43 (旅行員)

LEONTODO

N-10 21 22

編集発行人 北海道エスぺラント連盟
 札幌市北1条東9丁目 坂下清一方
 発行日 1958. 12. 20
 会費 年額 200円 (HEL会費) 年4回発行

Enketo pri Esperantistoj en Hokkaido

札幌市北ノ東9

北海道エスペラント連盟

下記各順にそれぞれ御回答の上御返送下さいますようお願い致します。尚余白のない場合は別紙に各番号を附して書いて下さい。尚連した事項で面白いことがありましたら校閲紙の原稿として御返稿下さい。

氏名 _____ 年令(或は生年) _____ 職業 _____

住所 _____ 所属会 _____

Esperanto 学習について

① いつごろ、どこでお始めですか？ 講習会の場合講師は？ 独習なら用書は？ どんな動機でしたか？ どのような方が一緒でしたか？ 今までにどここの会に所属しましたか？

② 講習会を開かれたことがありますか？ 何時頃、何人位教え子が活躍しておりますか？

③ *Esperanto* 以外の外国語で何かおやりになりましたか？ *Exp.* はそれと比較してどう思いますか？

- ④ Esperanto に関して感銘を受けたこと、忘れられないこと、思い出の人、行事或は大会、癒をしたこと、損をしたこと、よかったこと、わかったこと。

- ⑤ 過去及び現在の Korespondo に就いて、どこで、どんな temo で。

運動についての希望

- ⑥ 新しく学習する人に、所属地方会に、HELに、日本のEs界に、全世界のEs界に望みたいこと。

抱負

- ⑦ 私はこういうことをしている、或はしたい。

あ　と　が　き

大会にあんなに沢山お集り願って報告も写真もお送りしないで誠に申しわけありません。あされたことでしょうね。実は *Leontodo* の原稿をあちらこちらにお願いしたのですが皆さんお忙しくて送ってくださらないのでおそくなりました。誰です？ 私なら面白い記事でもエス文でも書いてやると言う人は？ 何卒御遠慮なく沢山送って下さい。皆さんの *Leontodo* ですから、本当に早く出したかったのです。永くなっている内に学力検定普通試験の発表もありました。畑山、鈴木、カモ、高橋、ナカタ、西里、アリマ、イトウの8諸氏諸嬢が合格いたしました。おめでとうございます。来年の大会にも又施行する予定ですから、まだ受験していない方は何卒自分の自信をつけるためにも御勉強の上受験して合格のよろこびを味って下さい。オ45回日本エスプラント大会も11月の12、13日の3日間福岡市で盛大に開催されました。HELからも祝電を呈しておきました。北海道からは不在参加ですか。小樽の江口君、札幌の坂下、アリマ、吉原、稲野、福島、後藤、滝、西里、相沢、三宅、木村、小沢、高橋の諸氏諸嬢、14名が参加しました。

参議院議員の東隆氏は30年程以前北大エス会で現在学大の河野正道博士等と活躍されていたのですか最近又エス界に力をそそがれ、先日の小坂先生の古稀記念出版祝賀会に出席されたり、学会の集会などに顔を出されています。何卒北海道のエス界のためにも大きな力になつて下さい。

昨年交通事故で足の骨折をしたり、興さんの御不幸にお逢いになつたり最悪の年であつたアリマヨシハル氏は御子息等のためもあり信仰の同志林富士江さんと9月23日結婚されました。御多幸を祈ります。

Leontodo 主みの親、山本昭二郎君にはいつもこの表紙やプリントでお世話になつておりますが、このたびは表紙から編集まで一切お世話になりました。お礼を申し上げます。

皇太子殿下御婚約の御発表おめでとうございます。御婚約者の正田美智子さんは語学の天才。但し語学は英語の由、しかしエスプラントの達人と言ってもピンと来なくて英仏語に御たんのうと言つた方がおだやかで通りがよいことでしょう。何しろ英語で生計をたてる英語教師が何千人もいる日本の国のことですから、どなたかエスプラントでお祝いを述べては如何ですか？

折込のアンケート是非御返送下さい。*Leontodo* の原稿も同封願入れは幸いです。

Do mi deziras al vi Felician Novjaron!

坂下記